第４０回　豊川市地域公共交通会議　資料

＜目　次＞

１．【報告事項（１）】豊川市コミュニティバスの運行実績及び取り組み結果について

２．【報告事項（２）】ＯＤ調査結果について

３．【協議事項（１）】豊川市コミュニティバスの運行計画の変更について

４．【協議事項（２）】平成３１年度実施の事業と予算案について

５．【協議事項（３）】豊川市コミュニティバス運行車両の更新方針（案）について

６．【協議事項（４）】形成計画・路線の評価について

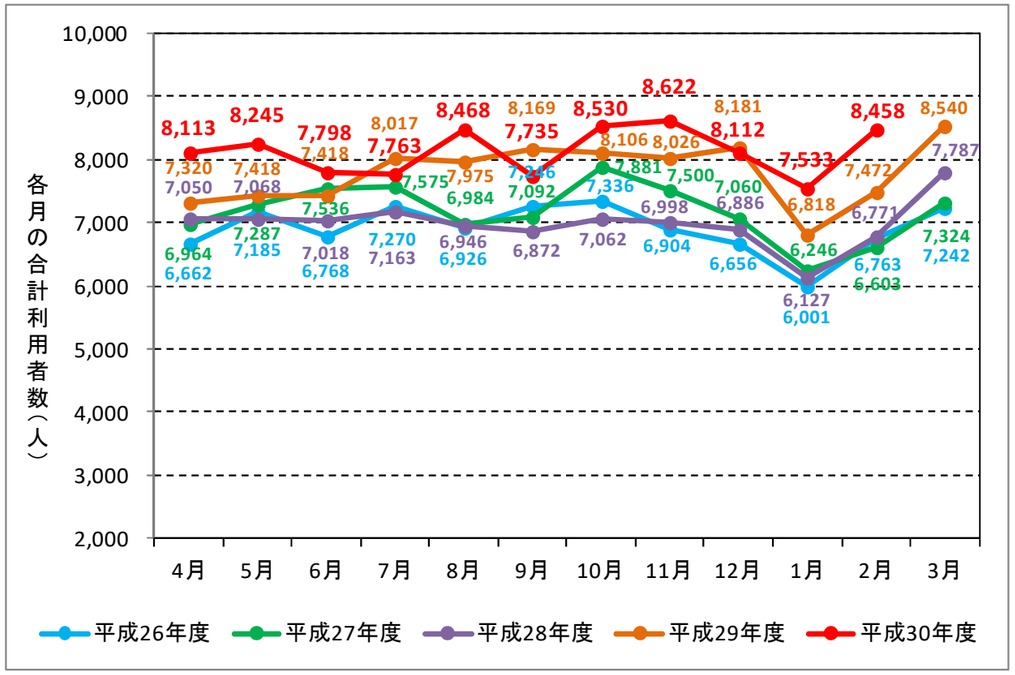
平成３１年３月２５日

１．【報告事項（１）】豊川市コミュニティバスの運行実績及び取り組み結果について

１－１．豊川市コミュニティバス利用者数の推移

新たな体系で運行を始めた平成２８年１０月以降においては、利用者数が前年同月より下回る状況が続きましたが、次第にその減少幅は小さくなり、平成２９年２月以降からは対前年同月を上回るようになり、平成２９年度は全ての月で前年同月を上回りました。

平成３０年度は、７月・９月・１２月を除いて前年同月を上回りました。運行開始から平成３１年２月までの８８ヶ月間の総利用者数は約６１．１万人となっています。



豊川市コミュニティバスの利用者数

※ 路線の主な見直し

■平成２４年１０月　１日：一宮地区地域路線の路線変更
（２路線＜東回り、西回り＞に１路線＜中回り＞追加）

■平成２４年１０月　１日：御油地区地域路線の運行開始
（１日６便による運行で、御油地区と国府駅を結ぶ路線で運行開始）

■平成２５年　５月　１日：豊川市民病院の移転に伴う路線再編
（豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線の市民病院の経由）

■平成２６年　５月　１日：御油地区地域路線の運行本数の変更
（１日６便から８便へ増便）

■平成２７年　５月　１日：御津地区地域路線の路線変更
（路線を５路線から７路線へ分割し、放射状の路線形態へ変更）

■平成２８年１０月　１日：ダイヤ及び運行本数の変更、運賃体系の変更
（豊川国府線、音羽線、御津線は豊川市民病院以東を減便し、豊川市民病院以西を増便、ゆうあいの里小坂井線は最終便を減便）

１－２．路線別の月別利用者数の推移

平成２８年１０月から新たな体系で運行を始め、平成３０年度の４～２月の合計は、平成２９年度の同月合計を上回っています。路線別でみると、豊川国府線、音羽地区地域路線を除いた基幹路線５路線、地域路線３路線の計８路線において、平成３０年度の４～２月の利用者数が平成２９年度の同月合計を上回っています。

平成28年4月～平成29年3月

平成 28 年度路線別の利用者数推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成28年度合計
豊川国府線	943	957	897	951	816	953	780	892	799	740	788	872	10,388
千両三上線	912	931	966	962	944	925	1,043	978	979	932	921	1,036	11,529
ゆうあいの里小坂井線	747	734	690	667	836	659	737	749	681	609	740	917	8,766
一宮線	1,024	980	906	1,010	915	934	1,053	1,057	967	935	1,054	1,150	11,985
音羽線	692	758	725	810	782	699	713	773	860	598	707	928	9,045
御津線	611	661	713	672	678	660	698	575	546	479	502	654	7,449
つつじバス（音羽地区地域路線）	905	841	912	905	888	842	735	695	832	721	805	899	9,980
ハートフル号（御津地区地域路線）	269	291	306	229	113	272	292	284	266	245	281	268	3,116
本宮線のんほい号（一宮地区地域路線）	521	530	510	518	495	469	524	542	452	508	501	572	6,142
ごゆりんバス（御油地区地域路線）	426	385	393	439	479	459	487	453	504	360	472	491	5,348
合計	7,050	7,068	7,018	7,163	6,946	6,872	7,062	6,998	6,886	6,127	6,771	7,787	83,748

平成29年4月～平成30年3月

平成 29 年度路線別の利用者数推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年度合計	H28との比較 増減数	H28との比較 増減率
豊川国府線	853	973	973	1,049	832	1,036	917	968	919	795	869	1,010	11,194	806	7.8%
千両三上線	989	1,011	1,046	1,118	1,054	1,072	988	1,025	1,017	836	848	1,081	12,085	556	4.8%
ゆうあいの里小坂井線	861	782	789	908	965	996	947	959	1,054	929	949	1,041	11,180	2,414	27.5%
一宮線	1,000	1,084	1,082	1,151	1,057	1,043	1,187	1,261	1,195	1,010	1,307	1,342	13,719	1,734	14.5%
音羽線	735	793	790	852	900	898	941	885	979	711	880	963	10,327	1,282	14.2%
御津線	694	762	697	657	805	715	727	684	726	632	676	857	8,632	1,183	15.9%
つつじバス（音羽地区地域路線）	868	729	713	851	1,012	953	996	861	909	673	715	869	10,149	169	1.7%
ハートフル号（御津地区地域路線）	270	275	282	226	164	263	315	332	283	255	287	288	3,240	124	4.0%
本宮線のんほい号（一宮地区地域路線）	525	481	460	600	588	575	471	484	411	426	453	488	5,962	−180	−2.9%
ごゆりんバス（御油地区地域路線）	525	528	586	605	598	618	617	567	688	551	488	601	6,972	1,624	30.4%
合計	7,320	7,418	7,418	8,017	7,975	8,169	8,106	8,026	8,181	6,818	7,472	8,540	93,460	9,712	11.6%

平成30年4月～平成31年3月

平成 30 年度路線別の利用者数推移

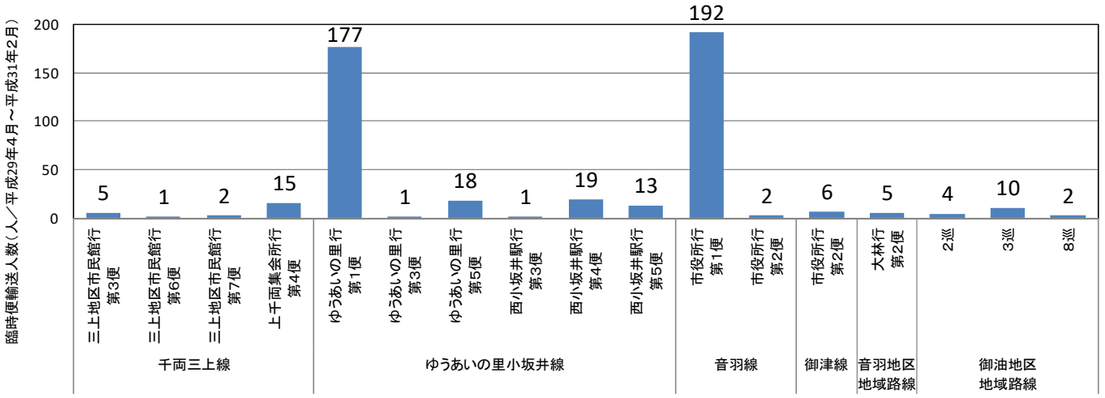
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成30年度合計	H29との比較 増減数	H29との比較 増減率
豊川国府線	944	974	940	948	977	840	905	921	803	853	1,012		10,117	−67	−0.7%
千両三上線	1,018	1,037	1,020	975	1,083	1,013	1,115	1,096	1,039	853	1,016		11,265	261	2.4%
ゆうあいの里小坂井線	1,005	1,019	1,037	932	1,049	876	984	999	1,005	998	968		10,872	733	7.2%
一宮線	1,117	1,154	1,057	1,100	1,194	1,126	1,268	1,385	1,168	1,110	1,295		12,974	597	4.8%
音羽線	1,049	1,062	988	949	1,060	901	1,005	1,007	1,051	865	948		10,885	1,521	16.2%
御津線	722	754	718	732	839	744	752	712	707	656	739		8,075	300	3.9%
つつじバス（音羽地区地域路線）	872	830	765	812	951	876	816	755	778	657	758		8,870	−410	−4.4%
ハートフル号（御津地区地域路線）	313	332	250	239	139	229	331	336	287	283	330		3,069	117	4.0%
本宮線のんほい号（一宮地区地域路線）	434	462	439	464	483	525	620	621	597	712	726		6,083	609	11.1%
ごゆりんバス（御油地区地域路線）	639	621	584	612	693	605	734	790	677	546	666		7,167	796	12.5%
合計	8,113	8,245	7,798	7,763	8,468	7,735	8,530	8,622	8,112	7,533	8,458	0	89,377	4,457	5.2%

１－３．定員超過時に追加運行した臨時便の運行状況

平成２９年４月以降で臨時便が運行された路線は、６路線（千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線、音羽地区地域路線、御油地区地域路線）となっています。

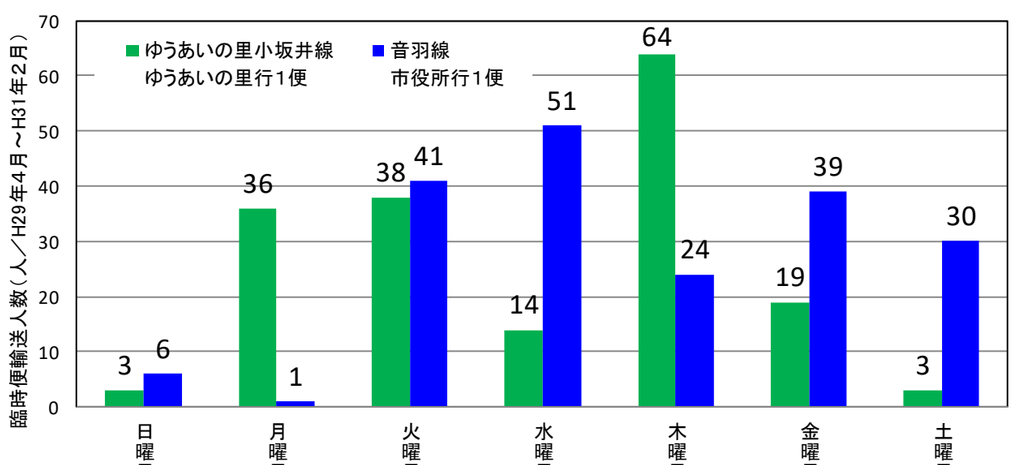
中でも、ゆうあいの里小坂井線と音羽線の臨時便運行が多くなっており、両路線のともに第１便に集中している状況にあります。

路線別便別の臨時便輸送人数（平成２９年４月～平成３１年２月の累計）



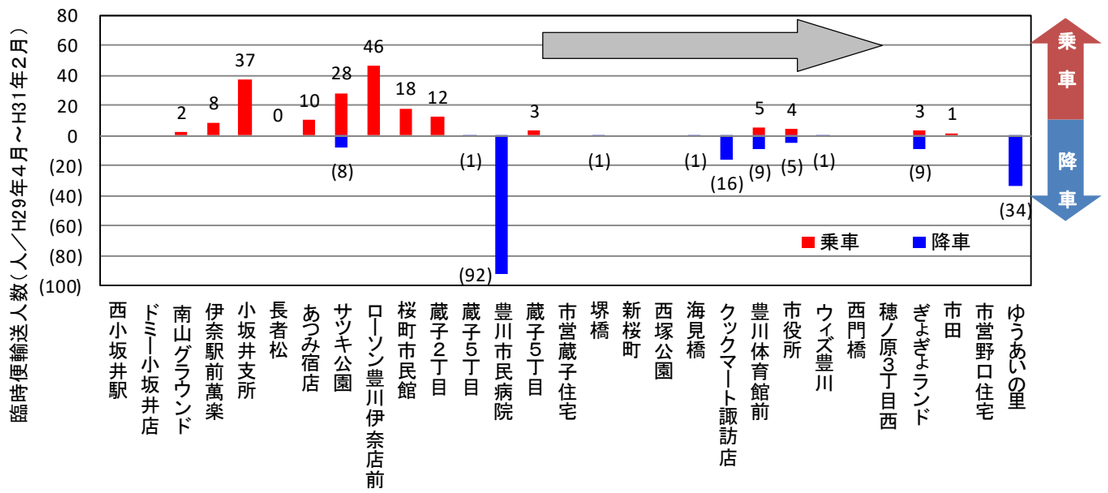
臨時便の運行が多い第１便利用者の曜日別輸送人員をみると、ゆうあいの里小坂井線では「木曜日」が最も多く、次いで「火曜日」「月曜日」の順で多さが目立ち、音羽線では「水曜日」が最も多く、次いで「火曜日」「金曜日」「土曜日」の順で多さが目立っています。

臨時便の曜日別輸送人数（平成２９年４月～平成３１年２月の累計）
【ゆうあいの里小坂井線（ゆうあいの里行き第１便）・音羽線（市役所行き第１便）】

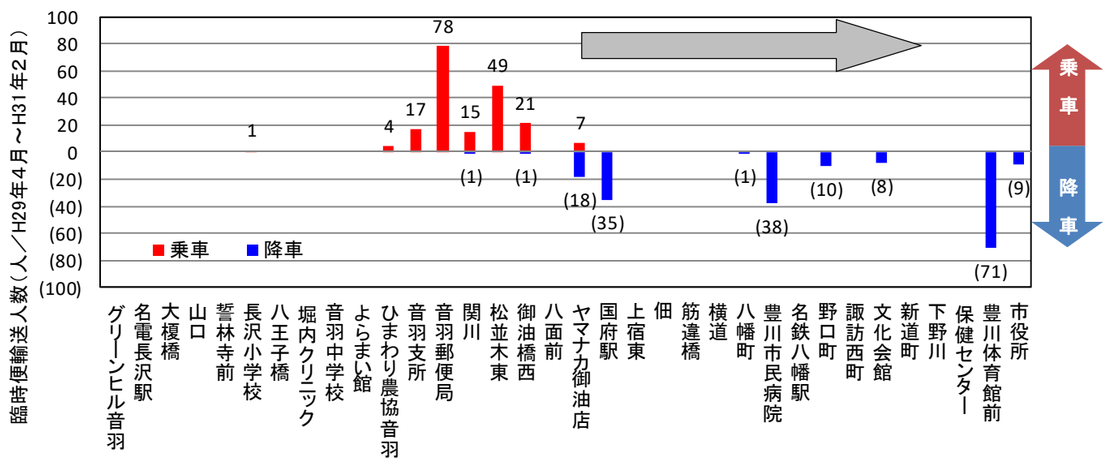


臨時便の運行が多い第１便利用者の乗降バス停をみると、ゆうあいの里小坂井線では「小坂井支所」や「サツキ公園～蔵子２丁目」で臨時便が必要となるケースが目立ち、「豊川市民病院」、「ゆうあいの里」で降車、音羽線では「音羽支所～御油橋西」で臨時便が必要となるケースが目立ち、「ヤマナカ御油店」、「国府駅」、「豊川市民病院」、「豊川体育館前」で降車する利用が多くなっています。

臨時便利用者の乗降バス停：ゆうあいの里小坂井線（ゆうあいの里行き第１便）



臨時便利用者の乗降バス停：音羽線（市役所行き第１便）



１－４．バス広報チラシ

平成３０年１２月１３日（木）に開催した地域協議会意見交換会・勉強会のワークショップにおいて、各地域協議会が作成したバス広告チラシが完成しました。

作成したバス広告チラシにつきましては、地域への回覧やホームページへの掲載などを通して各地区地域路線の利用促進に活用していく予定です。

バス広告チラシ（本会議資料では一宮地区地域路線を代表で掲載）

１－５．バス利用促進冊子

椙山女学園大学生活科学部生活環境デザイン学科松原研究室に所属する、豊川市在住の大学生から、卒業研究として作成した「コミュニティバスに乗ろう！とよかわ旅　観光ルート」の寄贈をいただきました。

利用促進に活用するため、ホームページへの掲載と公共施設等における配布を開始しています。

寄贈冊子の表紙

２．【報告事項（１）】ＯＤ調査結果について

２－１．ＯＤ調査の実施概要と回収結果

バス利用者の移動状況を把握するため、ＯＤ調査を以下のとおり実施しました。

① 豊川市コミュニティバス（１０路線）：１０/２３(火)～２７(土)：５日間

② 豊鉄バス　新豊線・豊川線（正岡～東上バス停）：１０/２３(火)・１０/２７(土)：２日間

回答者数は全体では２，４６１人となり、前年比１０２％となっています。

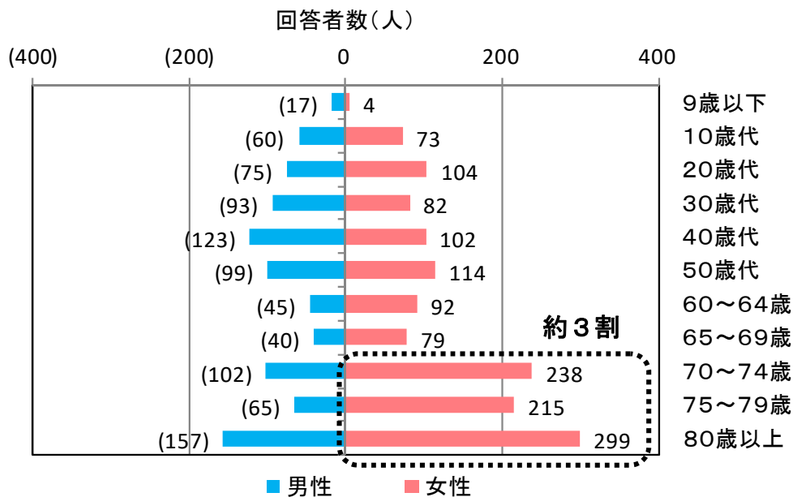
また、豊川市コミュニティバスのＯＤ調査期間中の利用者数に対するＯＤ調査カードの回収率は、全体で９７％でした。

路線名		10月 23日（火） 曇／晴	24日（水） 晴	25日（木） 晴	26日（金） 晴／曇	27日（土） 曇／晴	合計	調査期間利用者数	利用者数比	前年合計	前年比
豊川市コミュニティバス	豊川国府線	43	47	37	45	12	184	182	101%	221	83%
	千両三上線	29	36	36	36	33	170	173	98%	178	96%
	ゆうあいの里小坂井線	33	15	47	38	22	155	181	86%	153	101%
	一宮線	30	25	58	51	36	200	206	97%	205	98%
	音羽線	40	31	39	38	23	171	178	96%	142	120%
	御津線	21	27	33	45	14	140	142	99%	130	108%
	音羽地区地域路線	31	25	38	30	22	146	146	100%	154	95%
	御津地区地域路線	15	14	10	17	1	57	58	98%	65	88%
	一宮地区地域路線	37	22	42	12	28	141	142	99%	122	116%
	御油地区地域路線	28	18	25	41	9	121	129	94%	114	106%
	合計	307	260	365	353	200	1,485	1,537	97%	1,484	100%
豊鉄バス	新豊線・豊川線	590				386	976	－	－	939	104%
全体合計		897	260	365	353	586	2,461	－	－	2,423	102%

２－２．調査結果

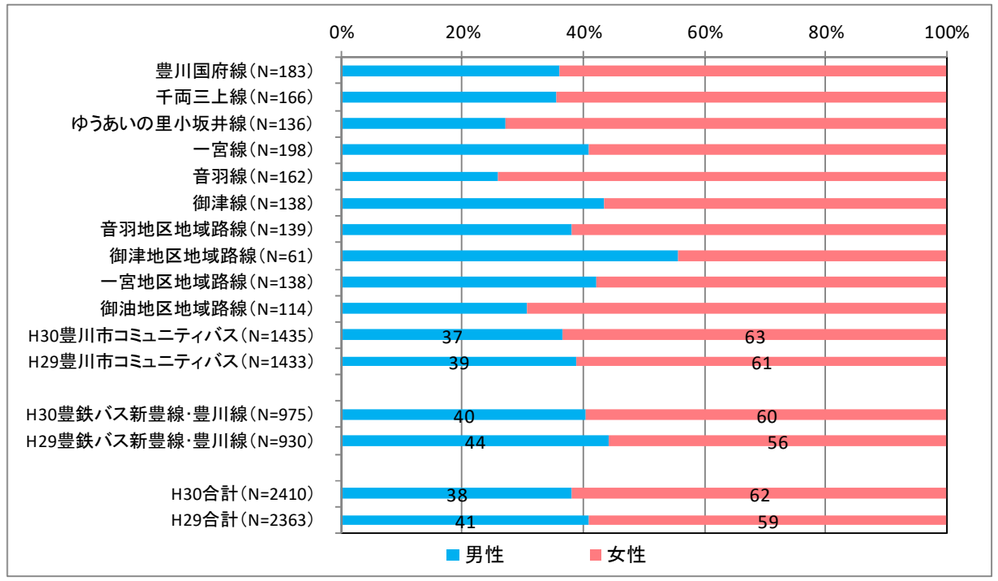
（１）性別・年代別

全体では、７０歳以上の女性の割合が利用者の約３割を占めています。



（２）性別

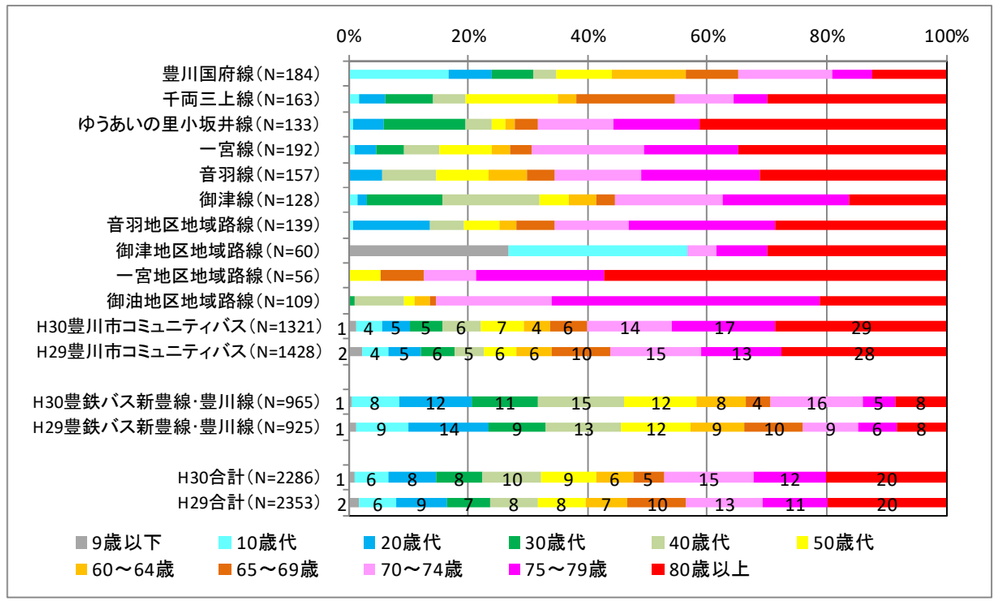
全体では、女性の割合が６２％と高くなっています。



（３）年齢

全体では、６０歳以上の利用割合が５８％（H29 調査時：６０％）を占めています。

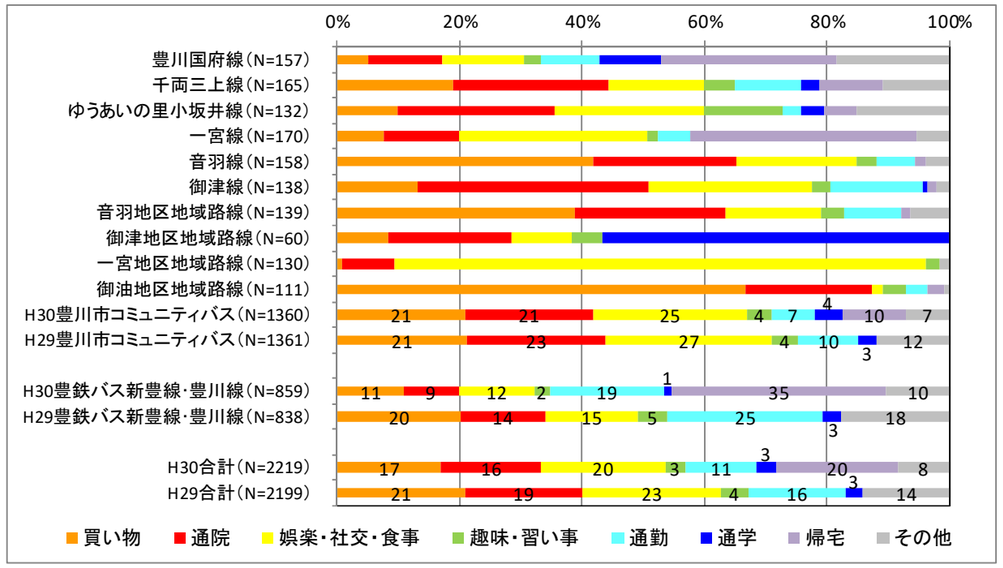
豊川市コミュニティバスでは、６０歳以上の利用割合が７１％（H29 調査時：７２％）を占めています。



（４）利用目的

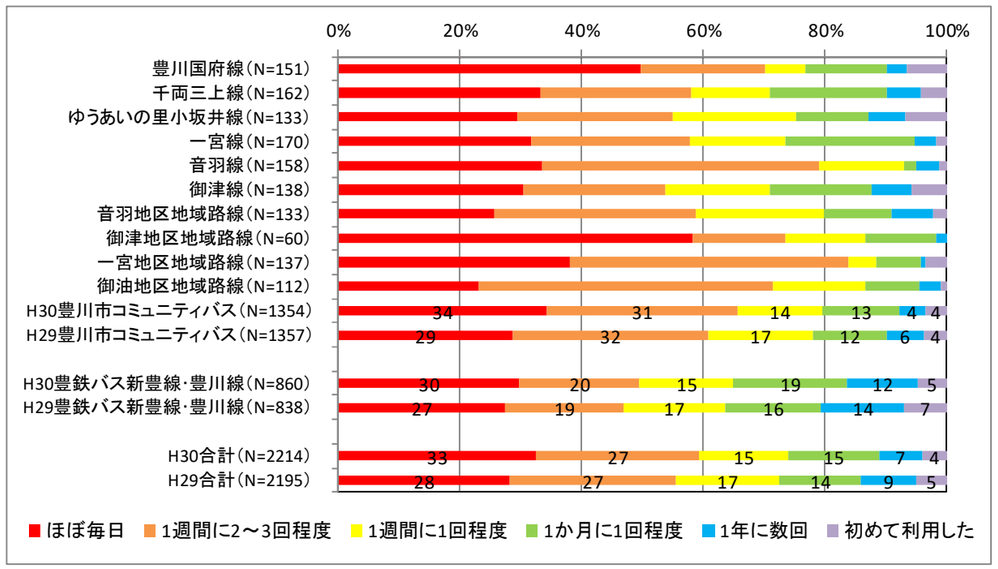
平成３０年度調査では「帰宅」目的を選択肢に加えたため、平成２９年度調査と全体の構成比は変わっていますが、豊川市コミュニティバスでは、「娯楽・社交・食事」「通院」「買い物」目的の順で高く、平成２９年度調査との大きな相違はありません。

豊鉄バスでは「帰宅」を除くと「通勤」目的が最も多く、前年度と同様の傾向となっています。



（５）利用頻度

平成２９年度調査と比べて「ほぼ毎日」利用の割合が豊川市コミュニティバスと豊鉄バスのともに高くなり、１週間に１回以上利用する割合はそれぞれ２％高くなっています。

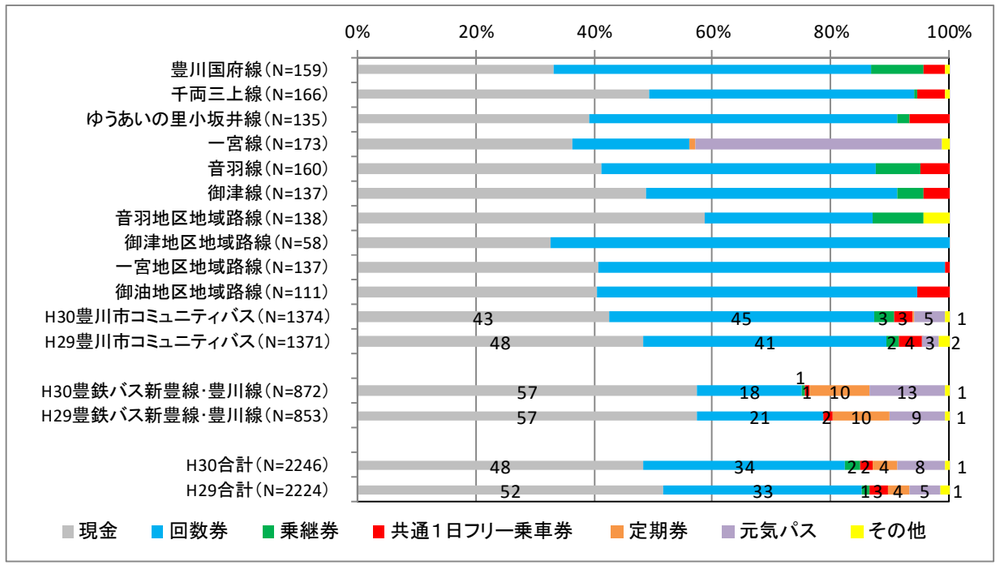


（６）運賃支払いの方法

豊川市コミュニティバスでは、平成２９年度調査と比べて「回数券」利用の割合が高くなっています。

豊鉄バスでは、「元気パス」の割合がやや増え、「回数券」の割合がやや減っています。

共通１日フリー乗車券の利用割合は、豊川市コミュニティバスと豊鉄バスのともに、平成２９年度調査と比べて１％減少しています。



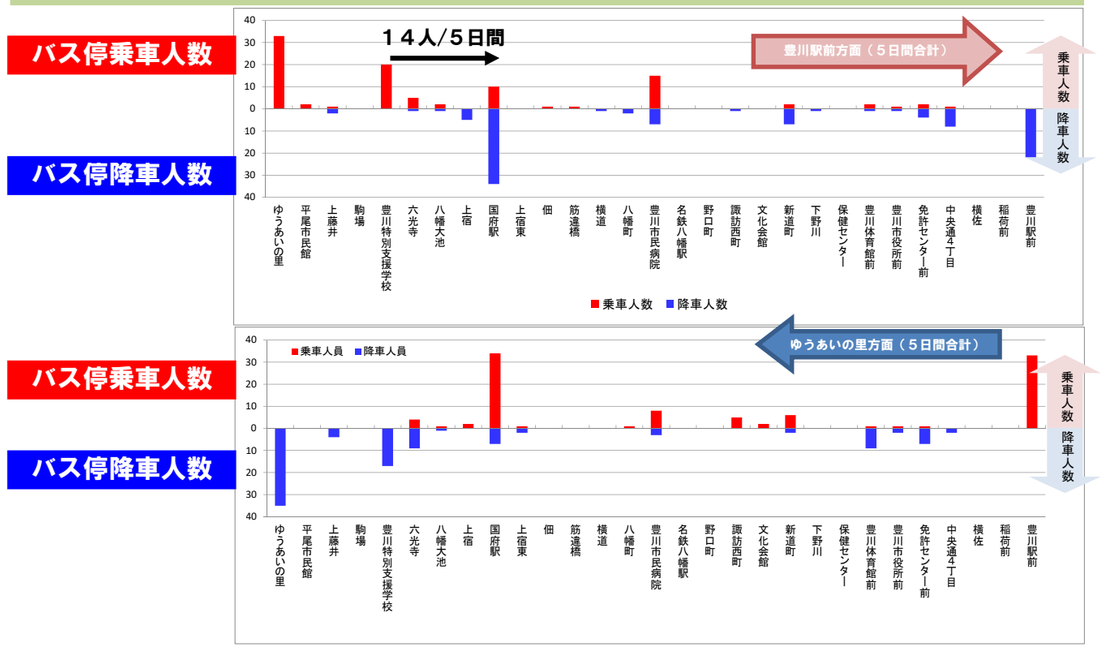
２－３．ＯＤ調査移動数の結果概要

（１）グラフの見方

ＯＤ調査の結果を右頁以降に示します。

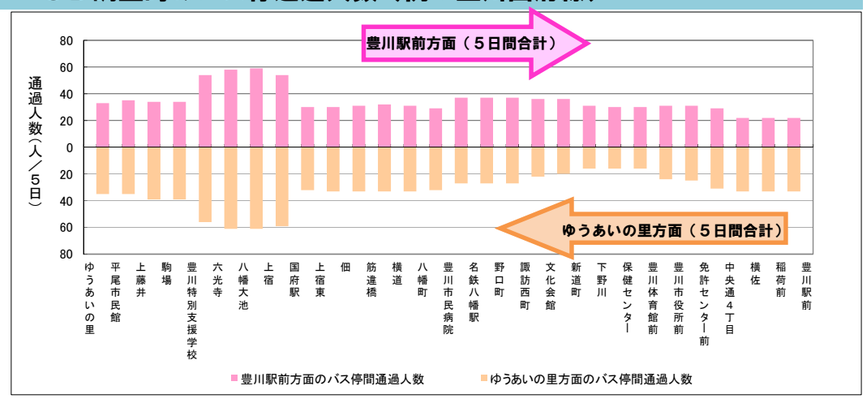
ここではグラフの見方について説明いたします。各路線グラフは２種類あります。

ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量（例：豊川国府線）



グラフの見方　<<例：豊川国府線>>
○方向別に記載しています。
○各バス停ごとの赤いグラフは乗車人数、青いグラフは降車人数を示しています。
○黒色の横棒及び数値はそのバス停間での移動人数を示します。ただし、紙面の関係で全ての移動を表記できないため、移動数が多いものを列挙しています。
例）豊川国府線では豊川特別支援学校から乗車し国府駅で降車した方が 14 人／5 日です。

ＯＤ調査時のバス停通過人数（例：豊川国府線）

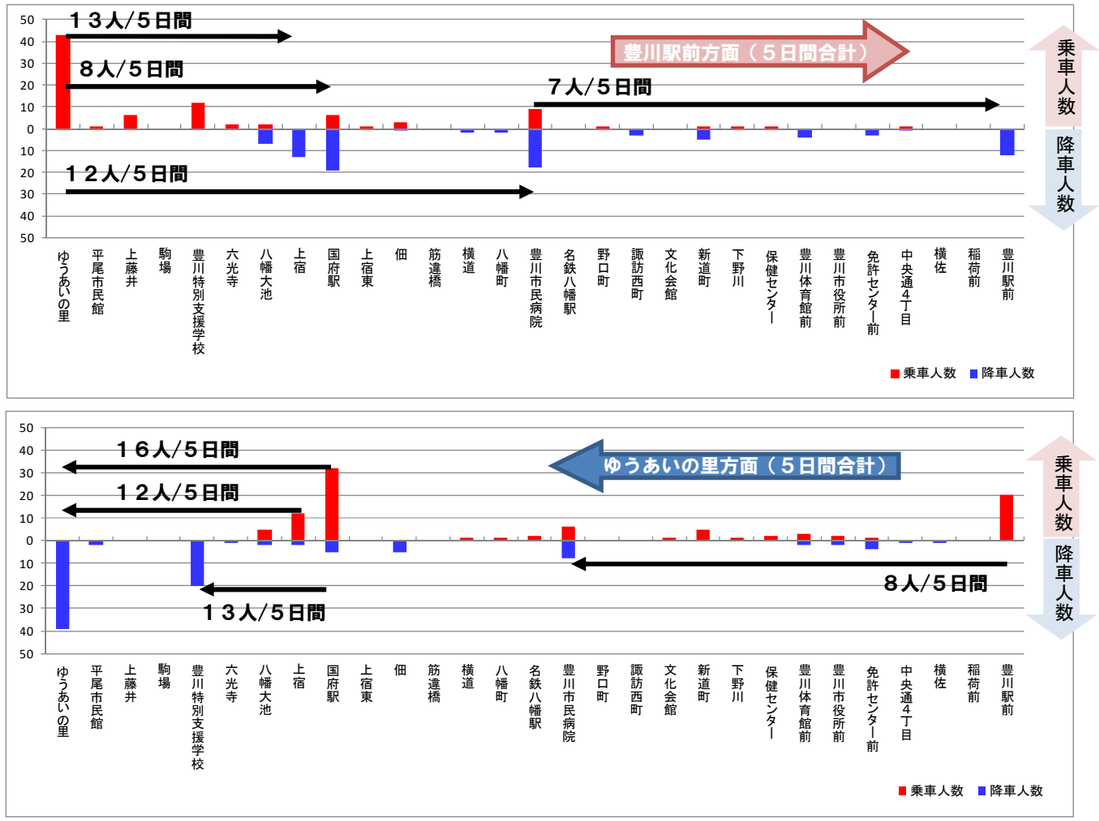


グラフの見方　<<例：豊川国府線>>
○ピンク色またはオレンジ色のグラフ縦軸は、各方面への通過人数（人/調査日合計）を示します。

（２）豊川国府線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

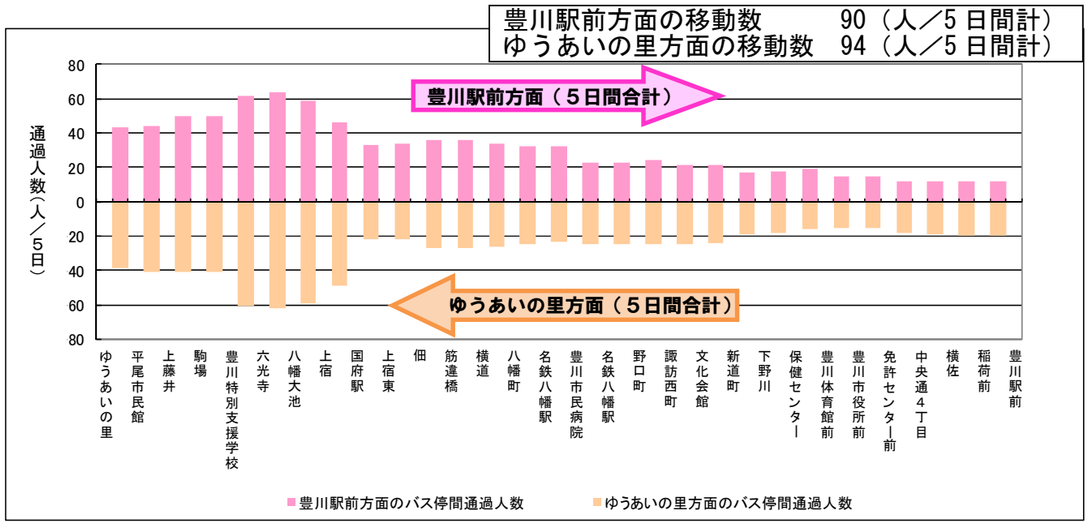
・豊川駅前方面は、「ゆうあいの里」から乗車し「上宿」及び「豊川市民病院」で降車する利用が多くなっています。
・ゆうあいの里方面は、「国府駅」及び「上宿」から乗車し「ゆうあいの里」で降車、「国府駅」から乗車し「豊川特別支援学校」で降車する利用が多くなっています。

ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



ＯＤ調査時のバス停通過人数

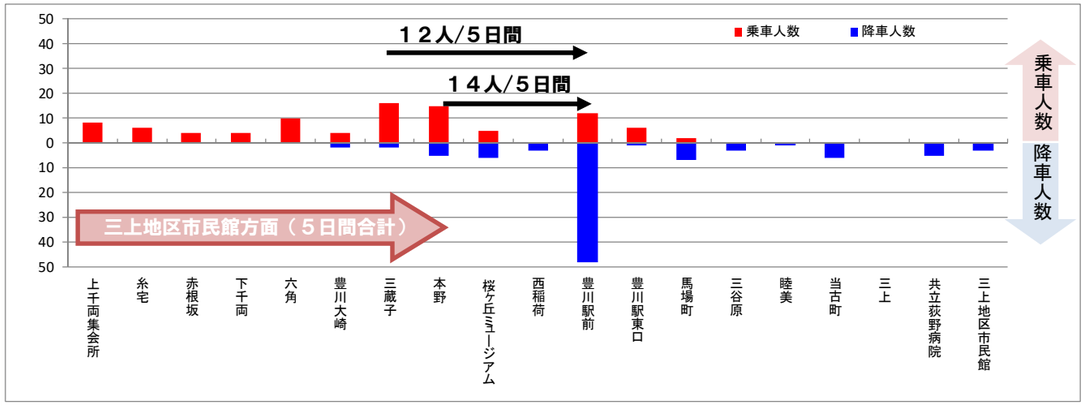
豊川駅前方面の移動数　90（人／5 日間計）
ゆうあいの里方面の移動数　94（人／5 日間計）

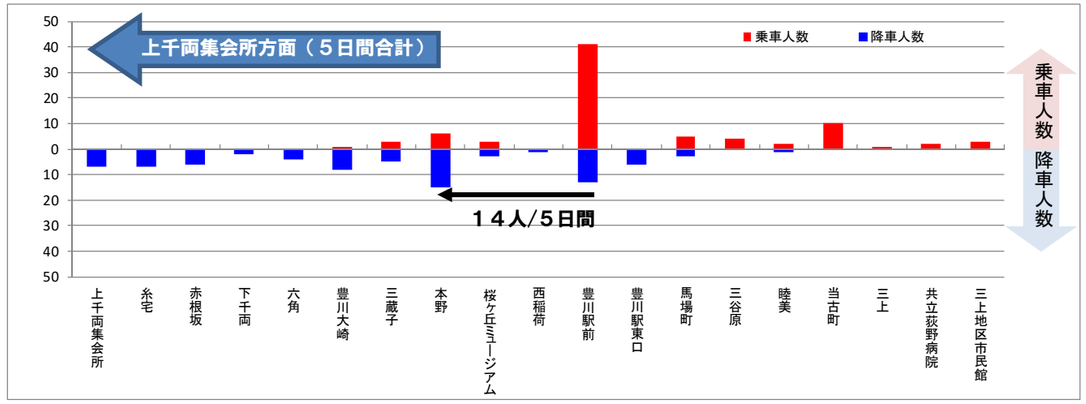


（３）千両三上線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

・三上地区市民館方面は、「三蔵子」、「本野」から乗車し「豊川駅前」で降車する利用が多くなっています。
・上千両集会所方面は、「豊川駅前」から乗車し「本野」で降車する利用が多くなっています。

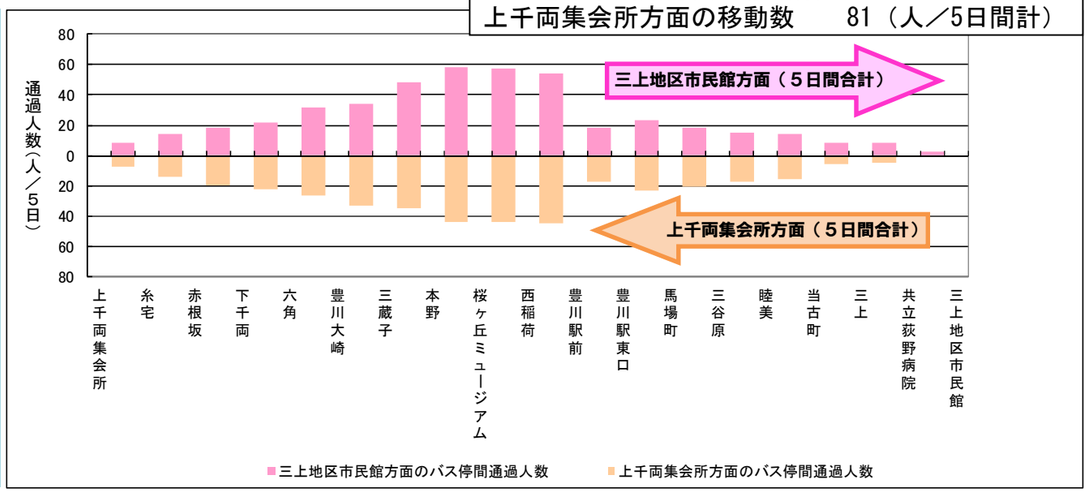
ＯＤ調査時のバス停別の乗降数主要なバス停間移動量





ＯＤ調査時のバス停通過人数

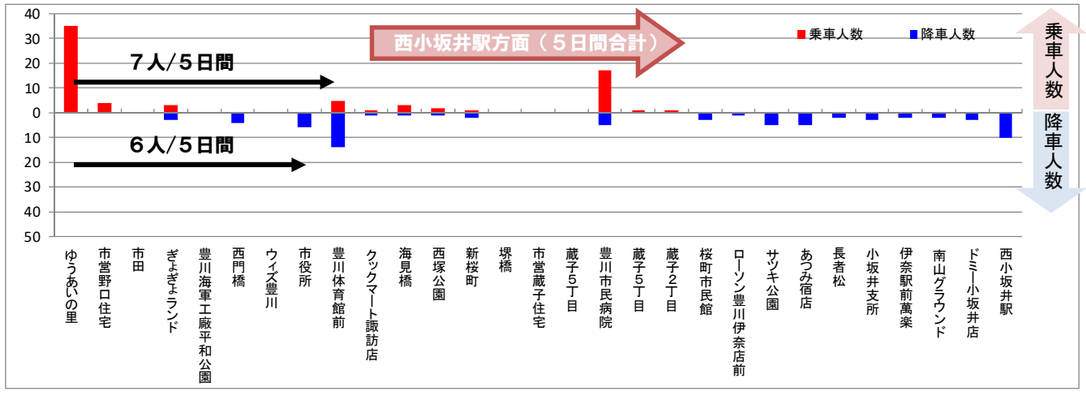
三上地区市民館方面の移動数　92（人／5日間計）
上千両集会所方面の移動数　81（人／5日間計）

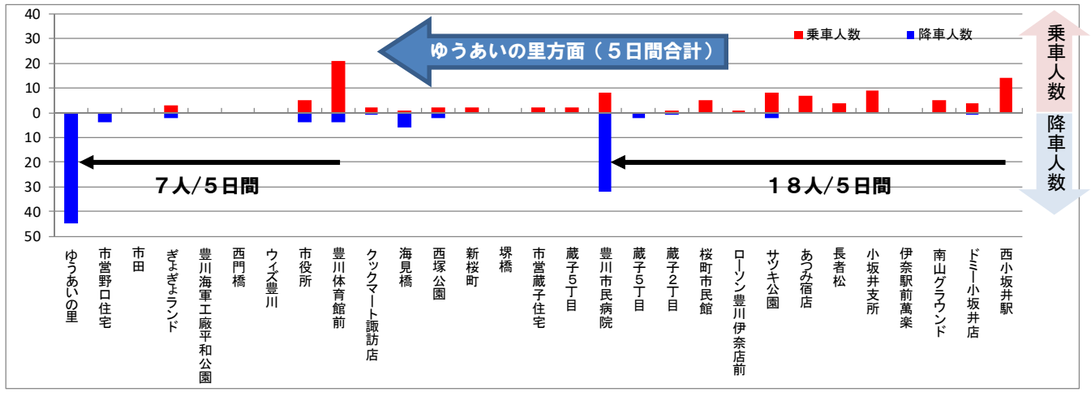


（４）ゆうあいの里小坂井線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

・西小坂井駅方面は、「ゆうあいの里」から乗車し「豊川体育館前」「市役所」で降車する利用が多くなっています。
・ゆうあいの里方面は、「豊川体育館前」から乗車し「ゆうあいの里」で降車、「西小坂井駅」から乗車し「豊川市民病院」で降車する利用が多くなっています。

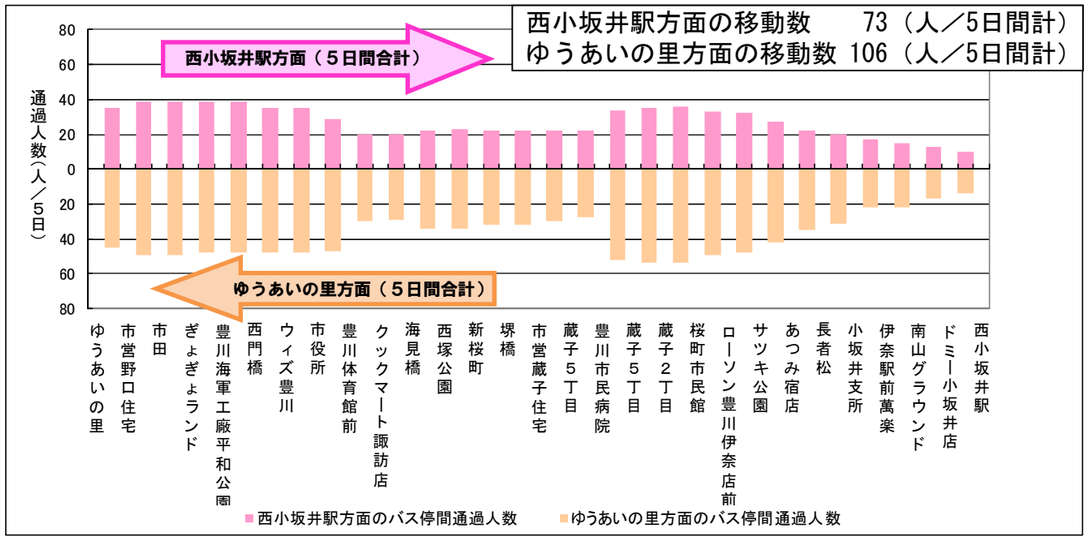
ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量





ＯＤ調査時のバス停通過人数

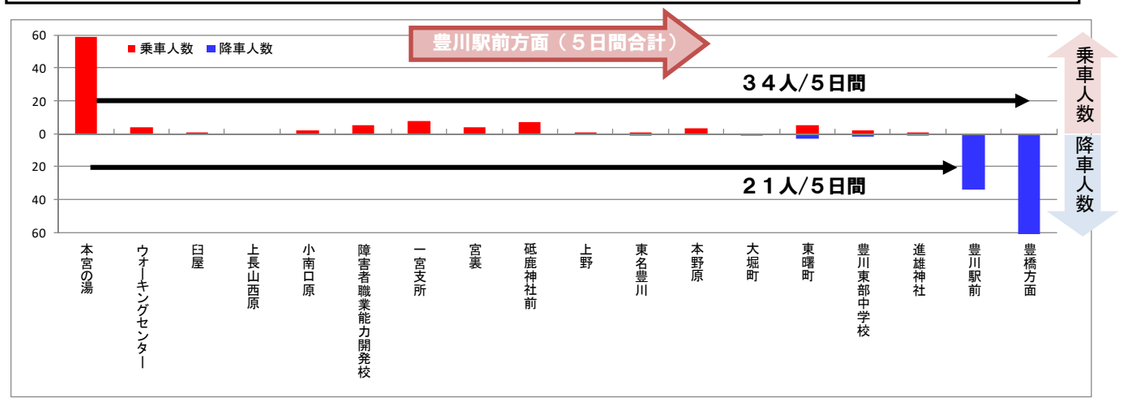
西小坂井駅方面の移動数　73（人／5日間計）
ゆうあいの里方面の移動数 106（人／5日間計）

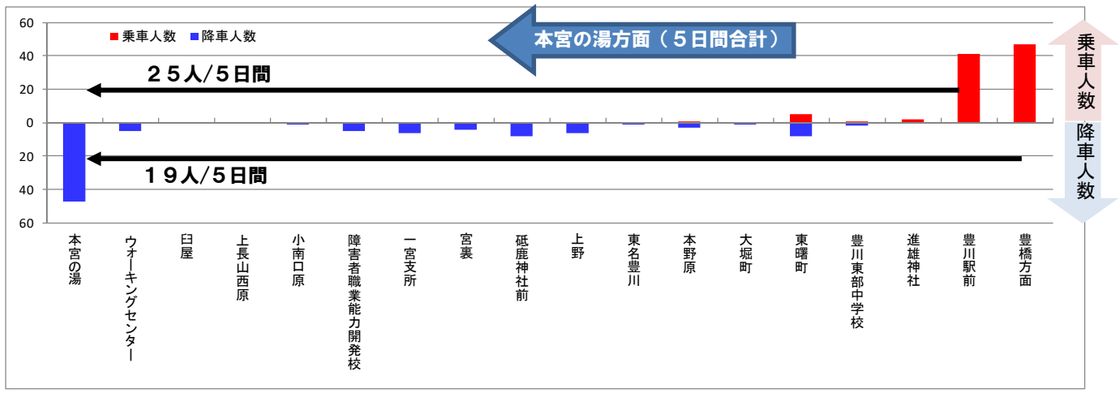


（５）一宮線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

・豊川駅前方面は、「本宮の湯」から乗車し「豊川駅前」及び「豊橋方面」で降車する利用が多くなっています。
・本宮の湯方面は、「豊川駅前」及び「豊橋方面」から乗車し「本宮の湯」で降車する利用が多くなっています。

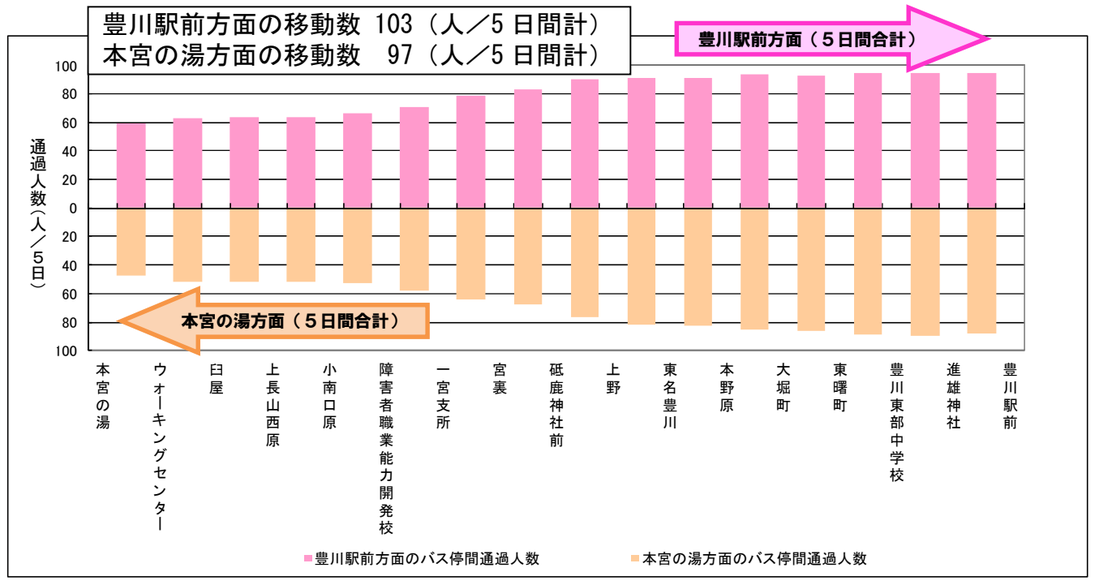
ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量





ＯＤ調査時のバス停通過人数

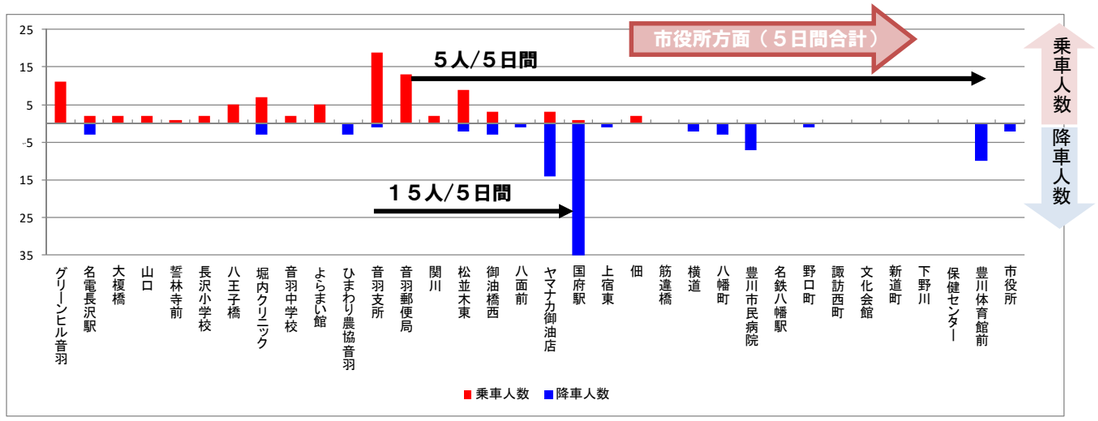
豊川駅前方面の移動数　103（人／5 日間計）
本宮の湯方面の移動数　97（人／5 日間計）

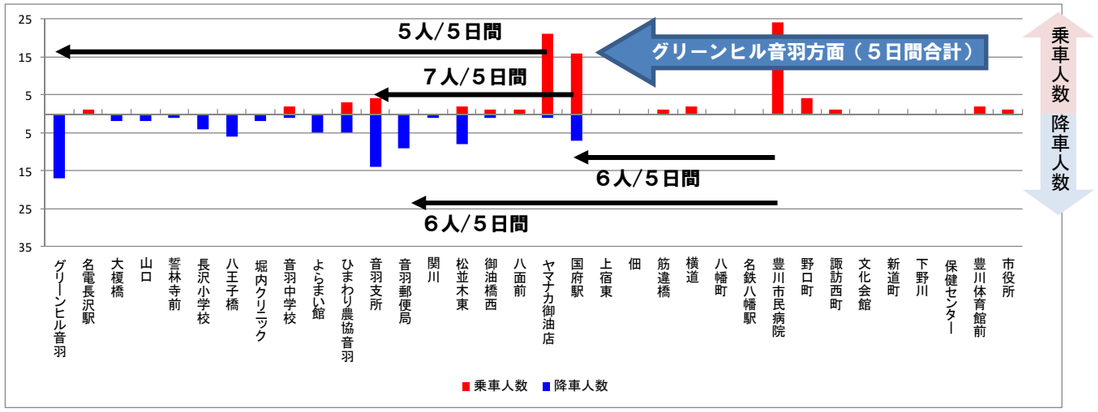


（６）音羽線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

・市役所方面は、「音羽支所」から乗車し「国府駅」で降車、「音羽郵便局」から乗車し「豊川体育館前」で降車する利用が多くなっています。
・グリーンヒル音羽方面は、「国府駅」から乗車し「音羽支所」で降車、「豊川市民病院」から乗車し「国府駅」及び「音羽郵便局」で降車する利用が多くなっています。

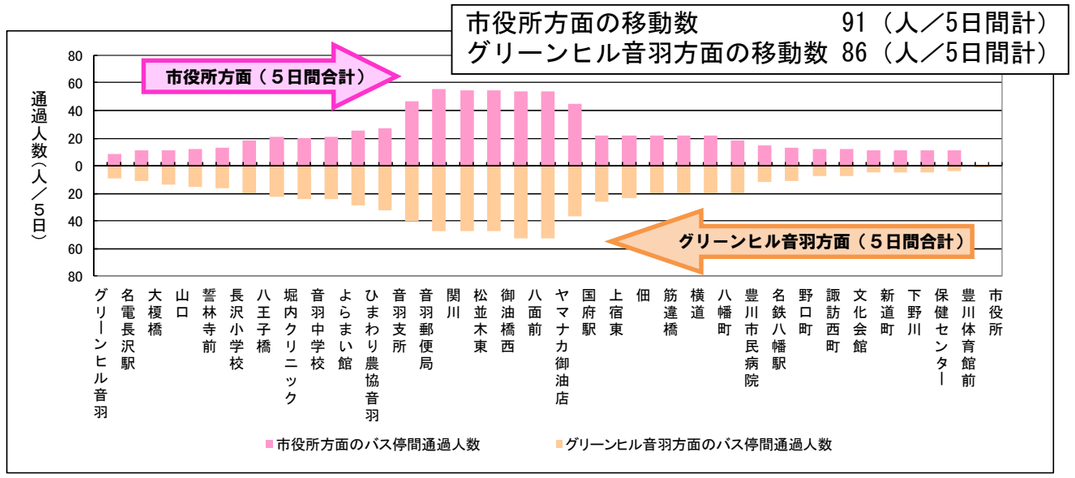
ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量





ＯＤ調査時のバス停通過人数

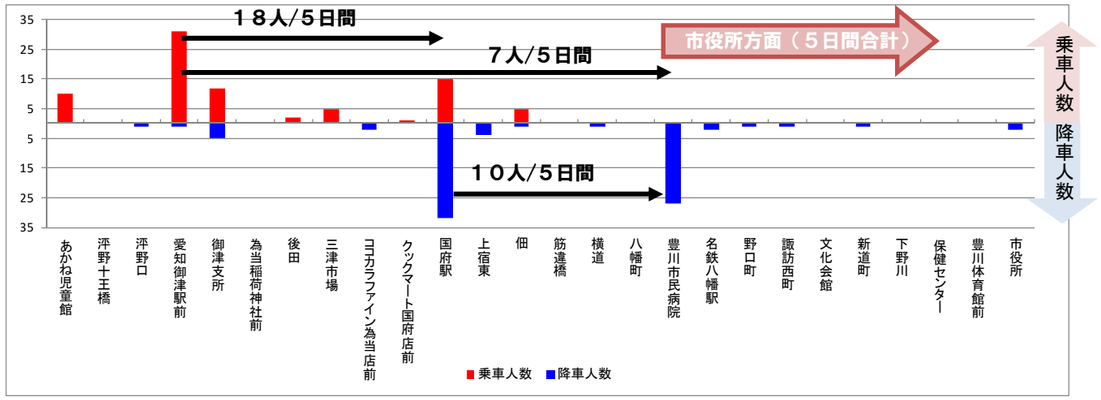
市役所方面の移動数　91（人／5日間計）
グリーンヒル音羽方面の移動数　86（人／5日間計）

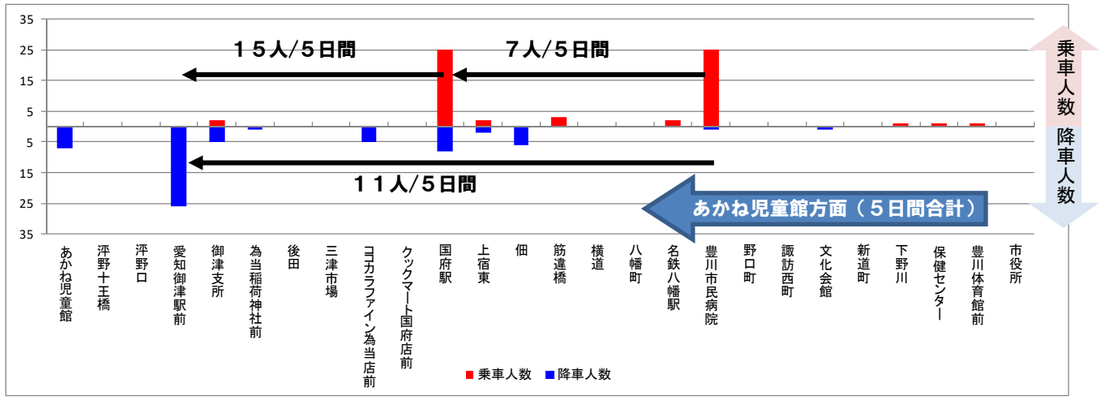


（７）御津線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

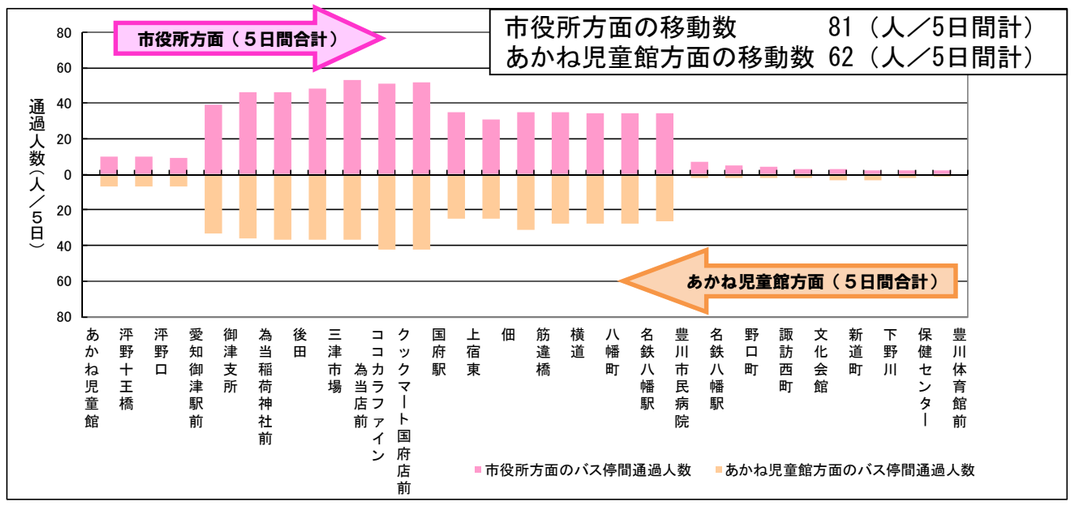
・市役所方面は、「愛知御津駅前」から乗車し「国府駅」及び「豊川市民病院」で降車、「国府駅」から乗車し「豊川市民病院」で降車する利用が多くなっています。
・あかね児童館方面は、「国府駅」から乗車し「愛知御津駅前」で降車、「豊川市民病院」から乗車し「国府駅」で降車する利用が多くなっています。

ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量





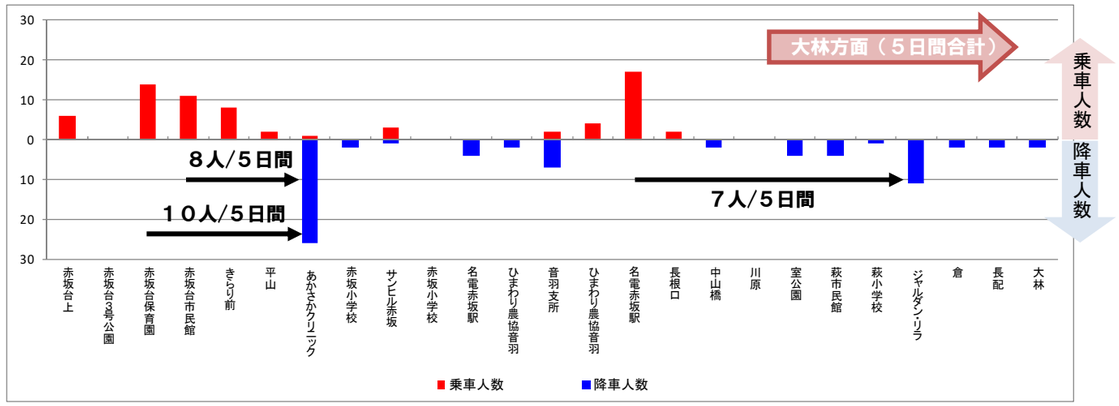
ＯＤ調査時のバス停通過人数

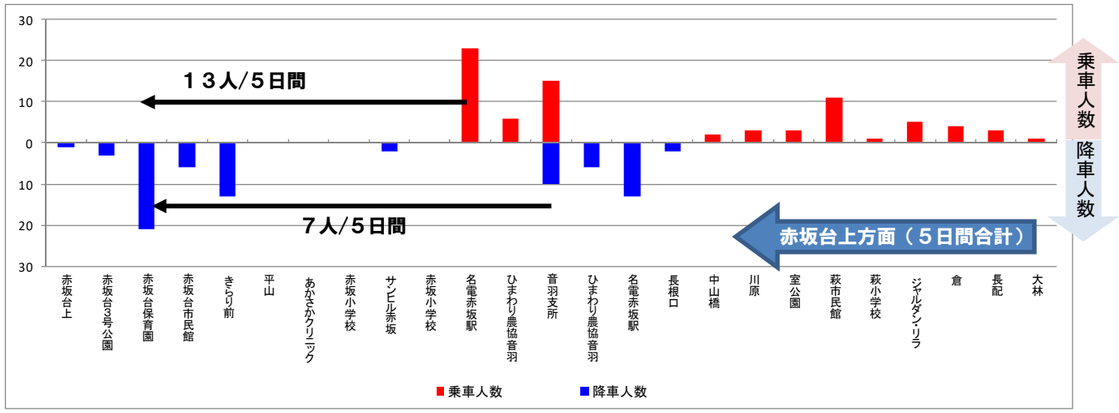


（８）音羽地区地域路線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

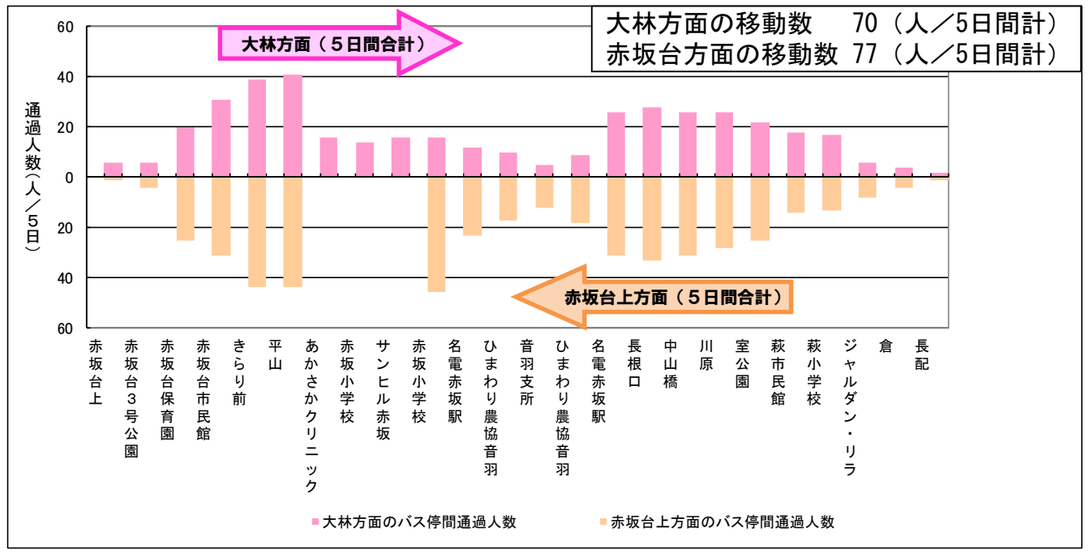
・大林方面の利用は、「赤坂台保育園」及び「赤坂台市民館」から乗車し「あかさかクリニック」で降車、「名電赤坂駅」から乗車し「ジャルダン・リラ」で降車する利用が多くなっています。
・赤坂台上方面の利用は、「名電赤坂駅」から乗車し「赤坂台保育園」で降車、「音羽支所」から乗車し「赤坂台保育園」で降車する利用が多くなっています。

ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量





ＯＤ調査時のバス停通過人数



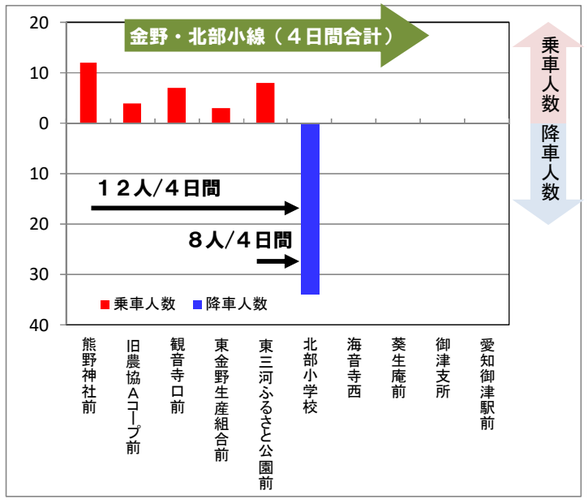
（９）御津地区地域路線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

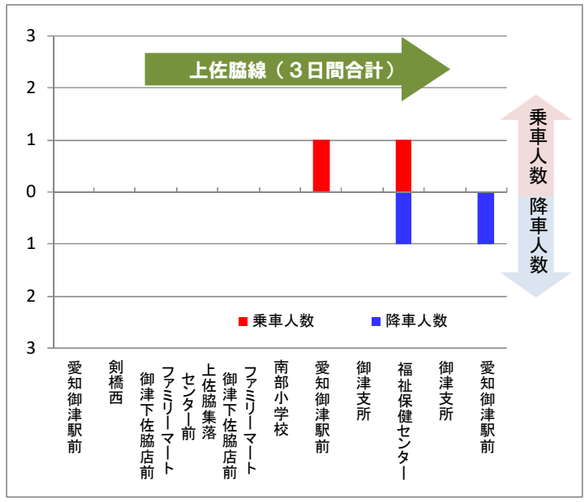
① 金野・北部小線、及び火・木・土曜日運行路線

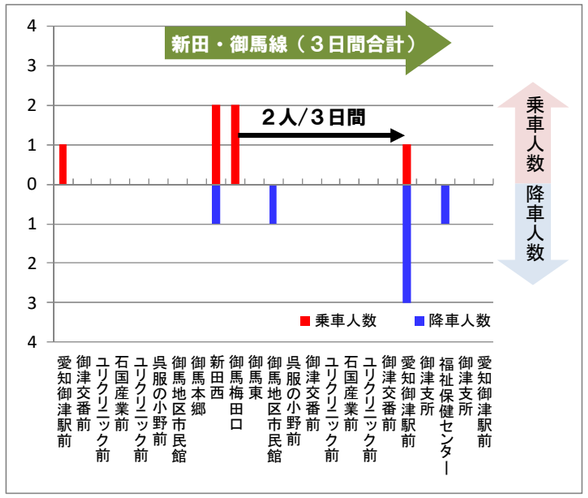
・金野・北部小線は、４日間で３４人の利用となっています。
・その他の路線は、上佐脇線の利用者は２人、新田・御馬線の利用者は６人、広石・豊沢線の利用者は４人のため、利用が目立って多い区間はみられません。

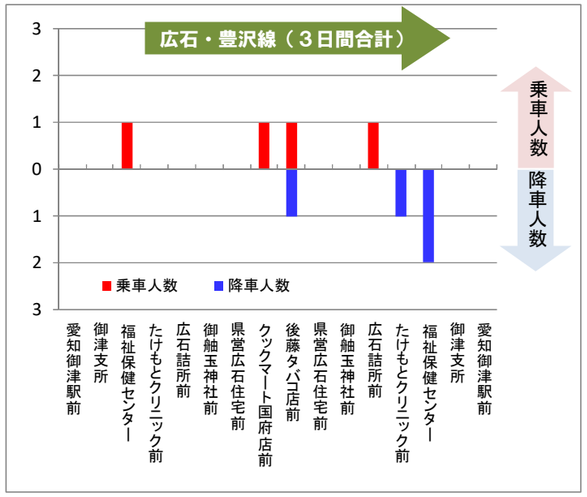
1）金野・北部小線移動数　34（人／4日間計）
2）上佐脇線の移動数　2（人／3日間計）
3）新田・御馬線の移動数　6（人／3日間計）
4）広石・豊沢線の移動数　4（人／3日間計）

ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量

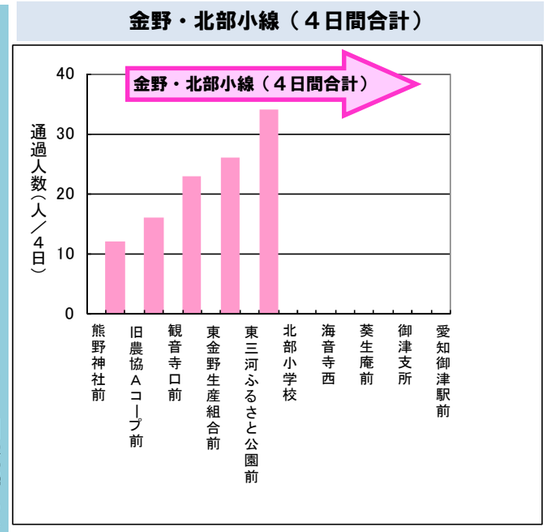


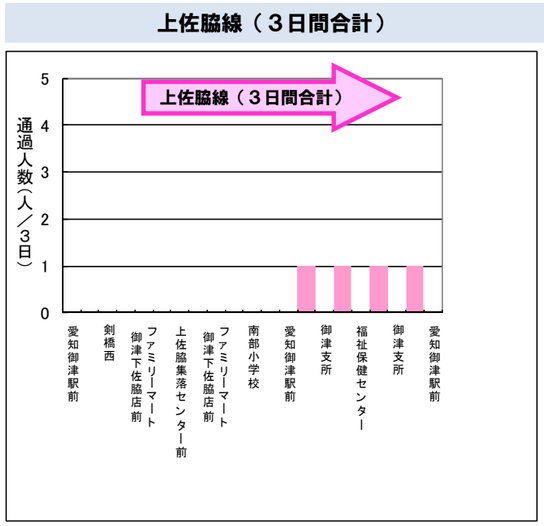


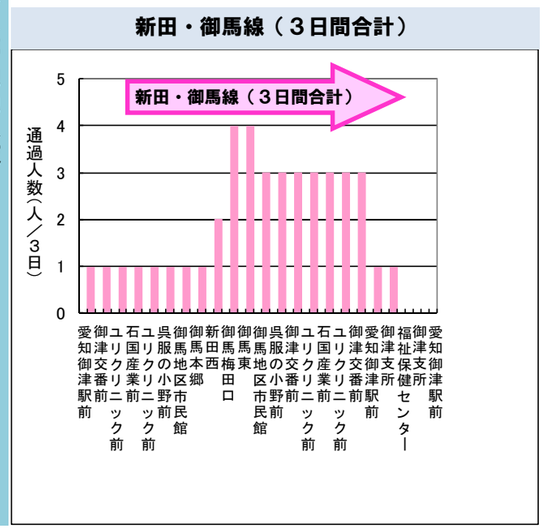


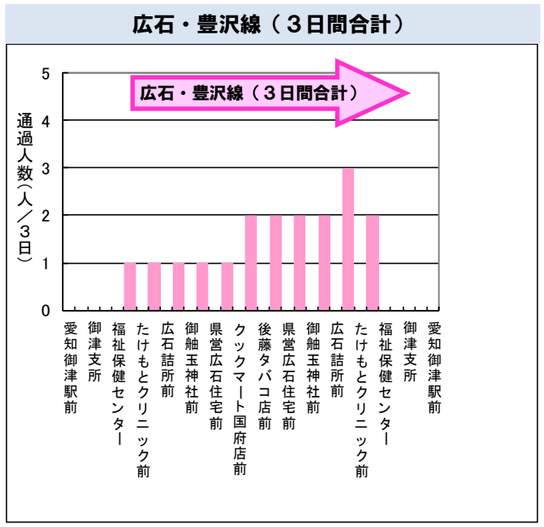


ＯＤ調査時のバス停通過人数







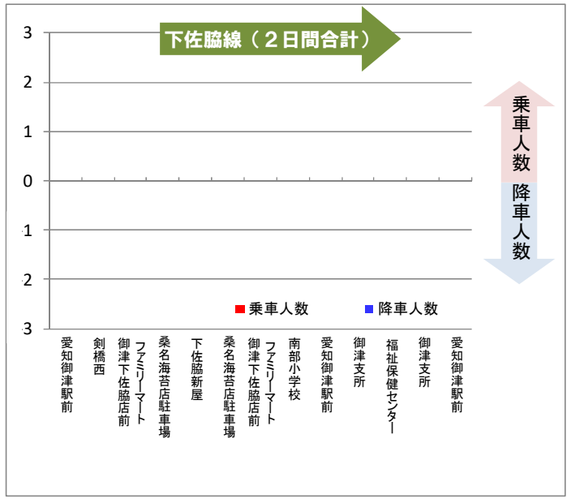


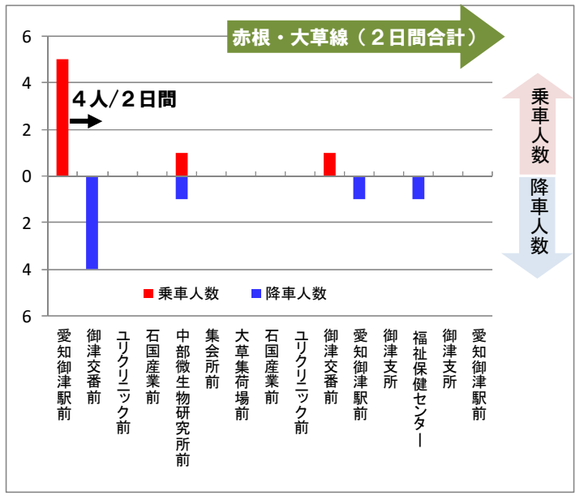
② 月・水・金曜日運行路線

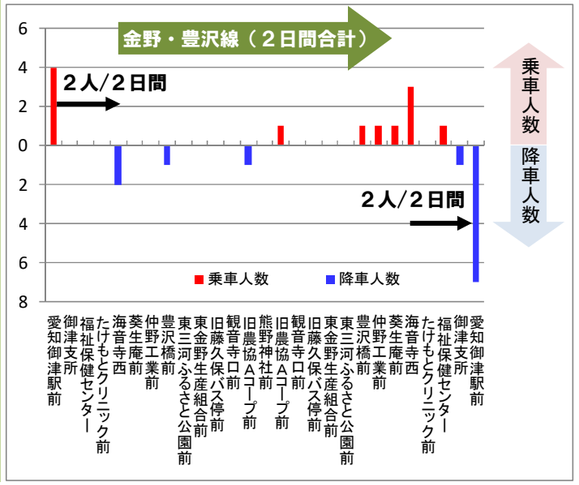
・赤根・大草線の利用者は７人、金野・豊沢線の利用者は１２人のため、利用が目立って多い区間はみられません。
・下佐脇線の利用者は０人でした。

5）下佐脇線の移動数　　0（人／2 日間計）
6）赤根・大草線の移動数　7（人／2 日間計）
7）金野・豊沢線の移動数 12（人／2 日間計）

ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量

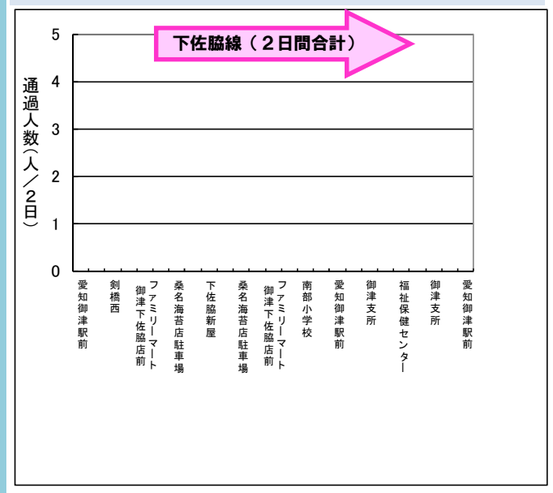




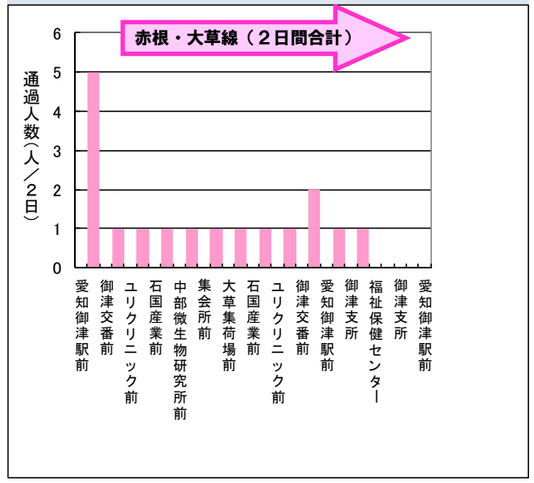


ＯＤ調査時のバス停通過人数

下佐脇線（２日間合計）



赤根・大草線（２日間合計）



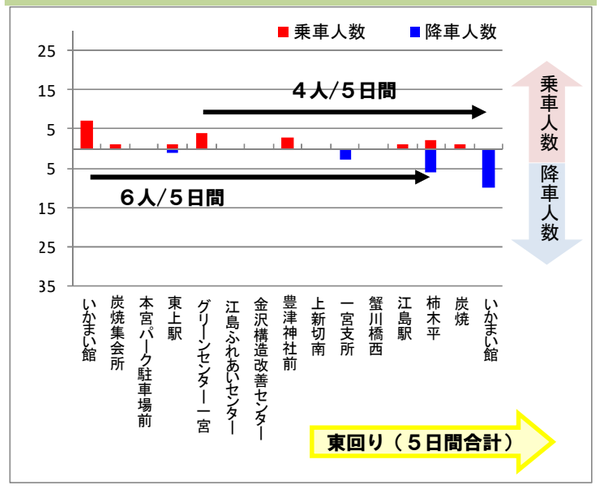
金野・豊沢線（２日間合計）

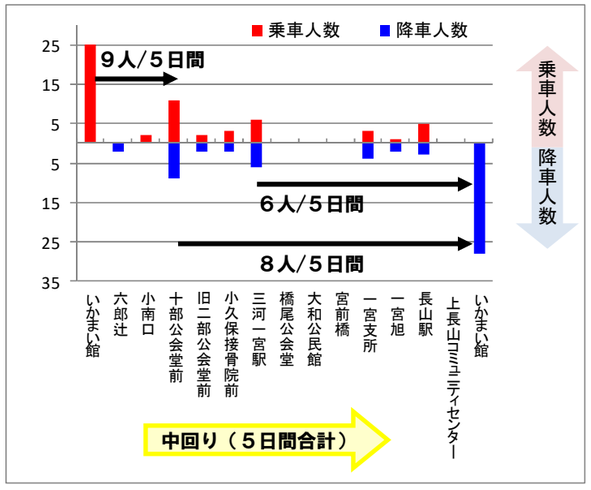
（１０）一宮地区地域路線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

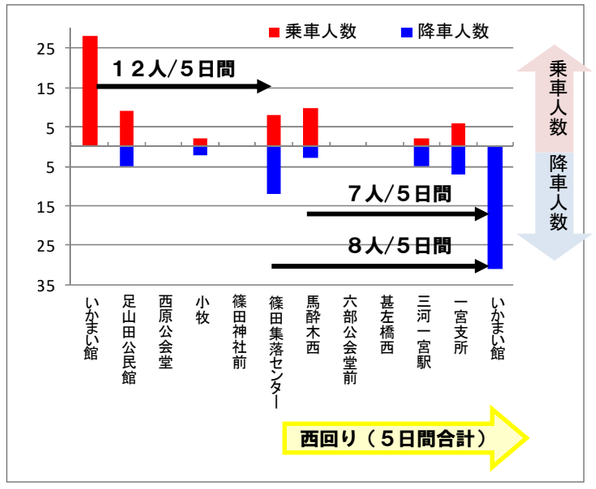
- 一宮地区地域路線は、各路線ともに午前中は「いかまい館」への移動、午後は「いかまい館」からの移動が多くなっています。
- 東回りは、「グリーンセンター一宮」から乗車し「いかまい館」で降車、「いかまい館」から乗車し「柿木平」で降車する利用が多くなっています。
- 中回りは、「十部公会堂前」及び「三河一宮駅」から乗車し「いかまい館」で降車、「いかまい館」から乗車し「十部公会堂前」で降車する利用が多くなっています。
- 西回りは、「篠田集落センター」及び「馬酔木西」から乗車し「いかまい館」で降車、「いかまい館」から乗車し「篠田集落センター」で降車する利用が多くなっています。

東回りの移動数　20（人／5 日間計）
中回りの移動数　58（人／5 日間計）
西回りの移動数　65（人／5 日間計）

ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



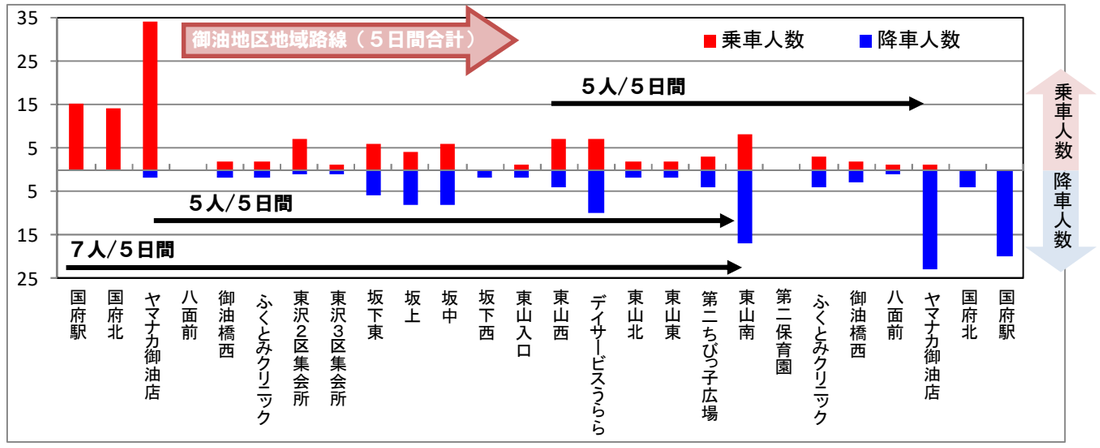




（１１）御油地区地域路線（５日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

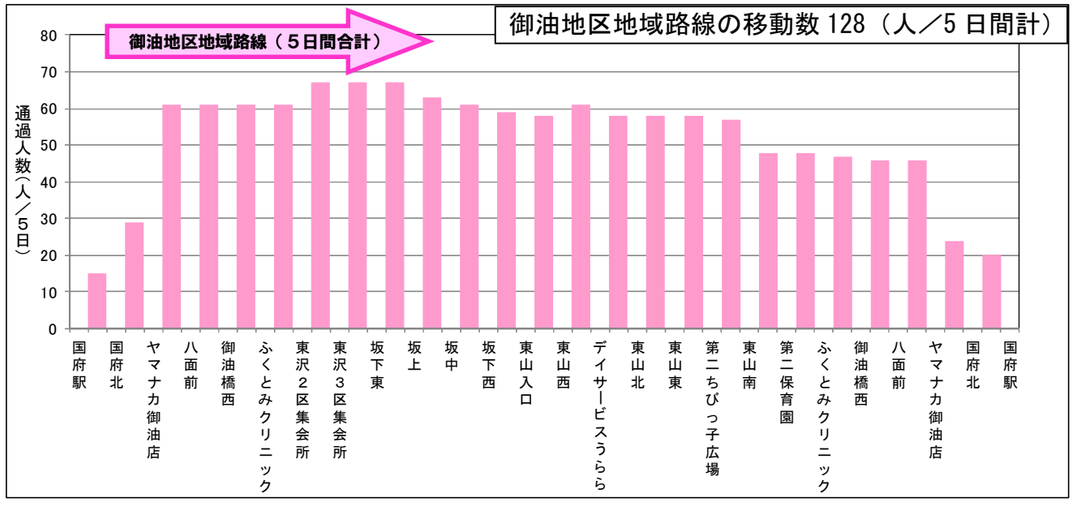
- 利用の多い区間は、「東山西」で乗車し「ヤマナカ御油店」で降車、「国府駅」及び「ヤマナカ御油店」で乗車し「東山南」で降車する利用が多くなっています。
- 住宅地内を移動する利用はほとんどみられません。

ＯＤ調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量

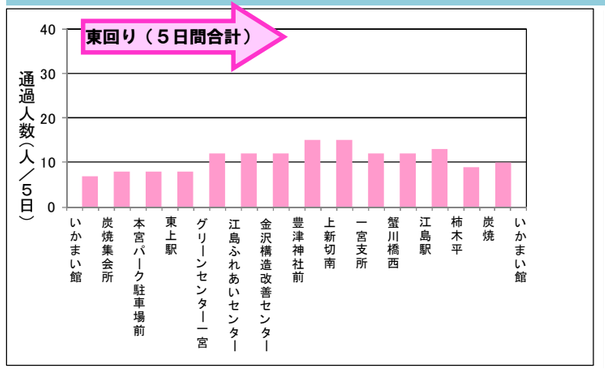


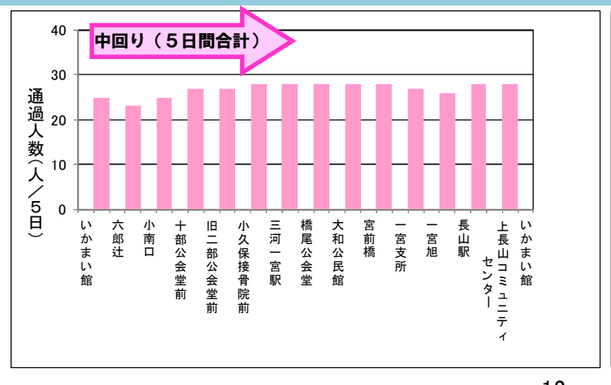
ＯＤ調査時のバス停通過人数（御油地区地域路線）

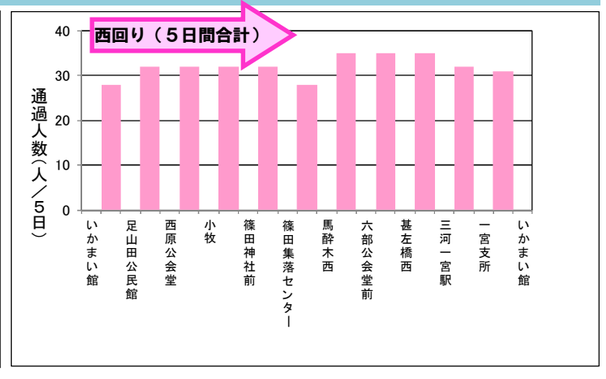
御油地区地域路線の移動数 128（人／5 日間計）



ＯＤ調査時のバス停通過人数（一宮地区地域路線）





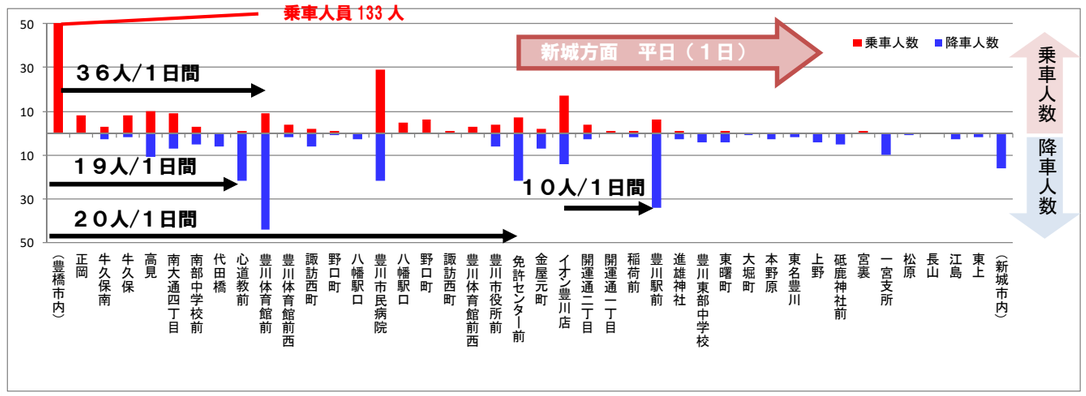


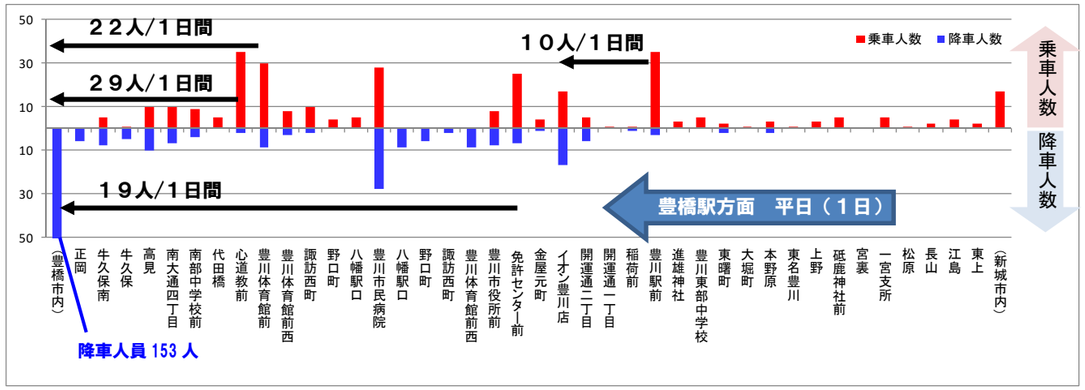
（１２）豊鉄バス新豊線・豊川線

①　平日調査（バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

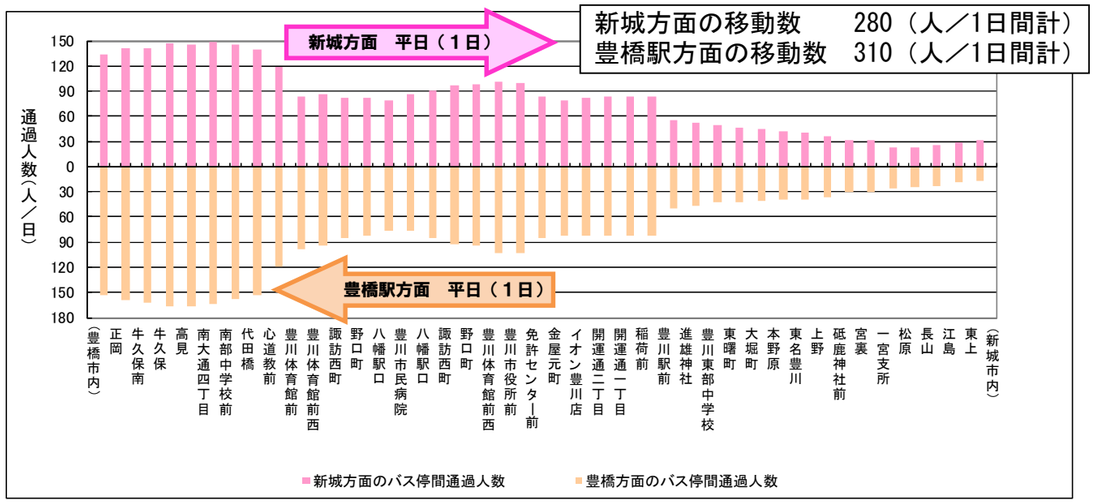
・新城方面は、「豊橋市内」から乗車し「心道教前」、「豊川体育館前」、「免許センター前」で降車する利用が多くなっています。
・豊橋方面は、「心道教前」、「豊川体育館前」、「免許センター前」から乗車し「豊橋市内」で降車する利用が多くなっています。
・豊川市内では「イオン豊川店」と「豊川駅前」の間の利用が多くなっています。

OD調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量





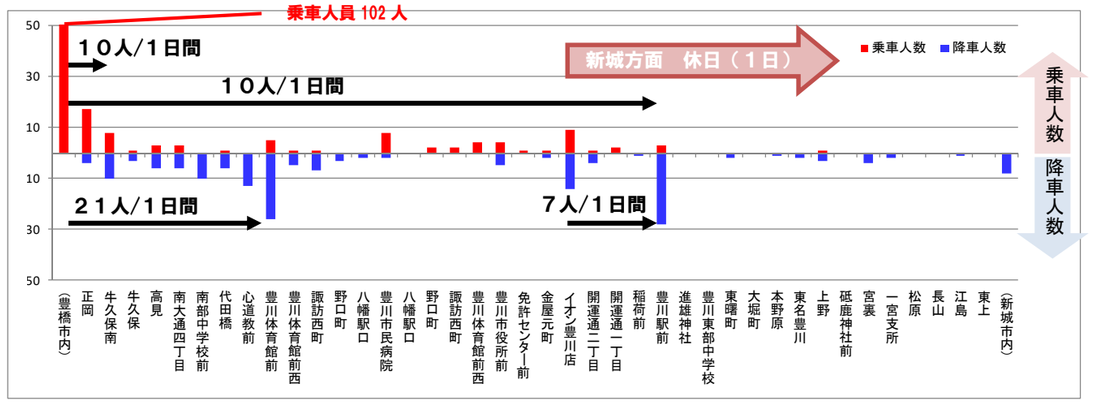
OD調査時のバス停通過人数

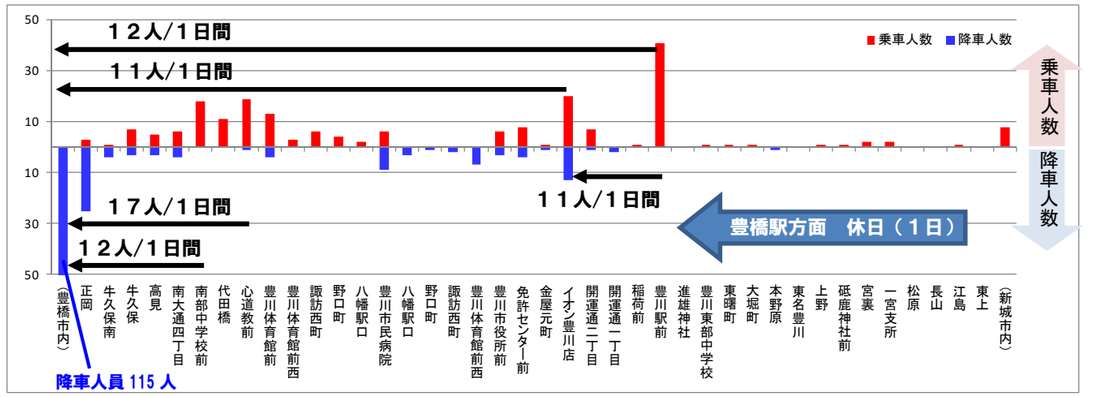


②　休日調査（バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

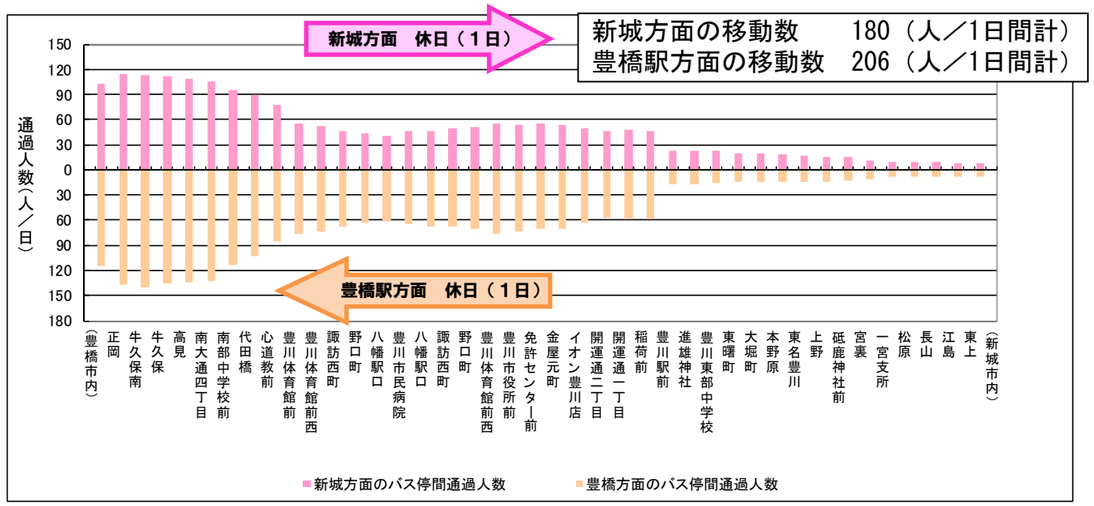
・新城方面は、「豊橋市内」から乗車し「豊川体育館前」、「牛久保南」、「豊川駅前」で降車する利用が多くなっています。
・豊橋方面は、「心道教前」、「豊川駅前」、「南部中学校前」、「イオン豊川店」から乗車し「豊橋市内」で降車する利用が多くなっています。
・豊川市内では「イオン豊川店」と「豊川駅前」の間の利用が多くなっています。

OD調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量





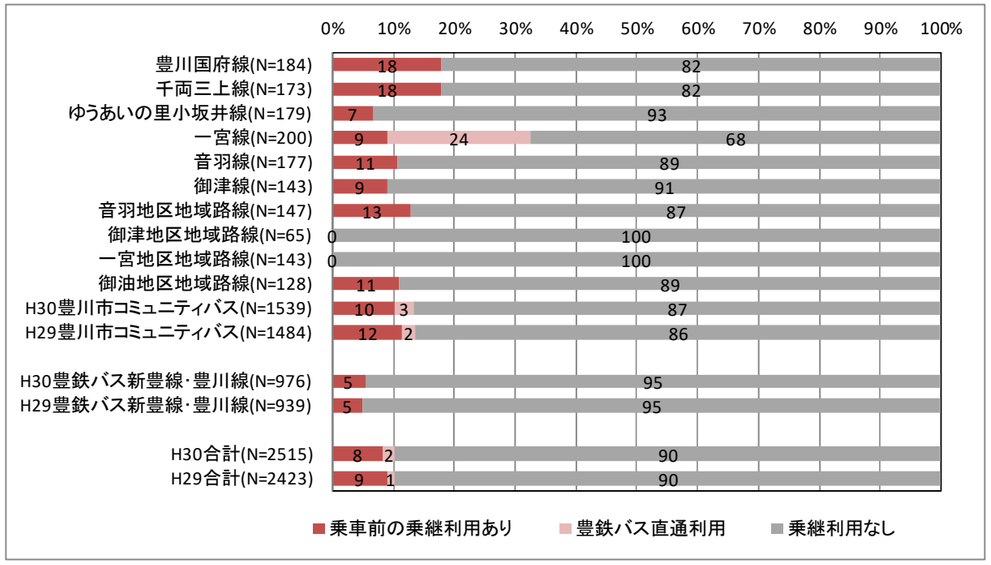
OD調査時のバス停通過人数



２－４．乗継の状況

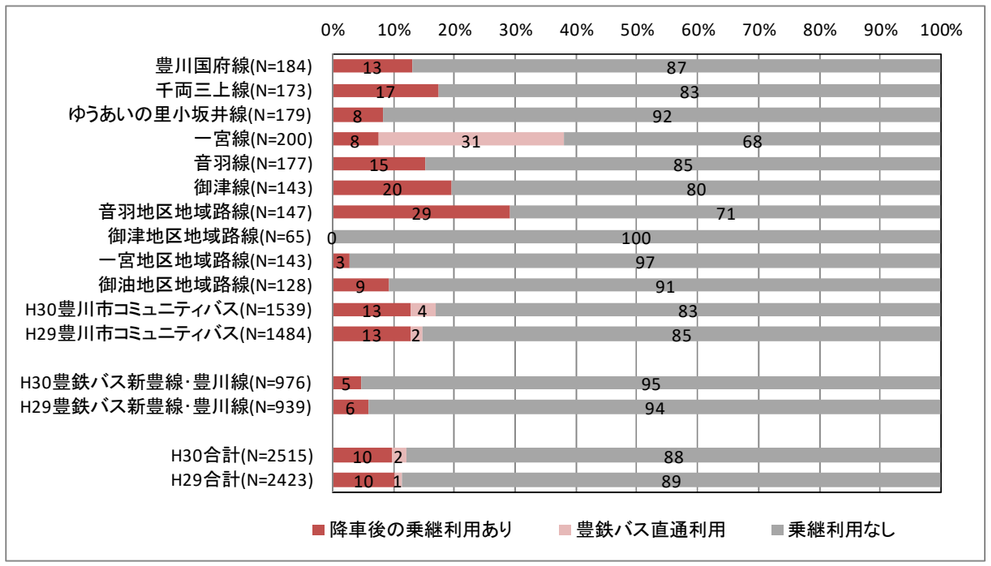
（１）乗車前の乗継有無

乗車前に乗継いだ利用者は全体では８％（H29 調査時：９％）という結果となっています。乗車前に乗継いで利用する割合が１０％を越える路線は、豊川国府線、千両三上線、音羽地区地域路線、音羽線、御油地区地域路線の順で多くなっています。



（２）降車後の乗継有無

降車後に乗継ぐ利用者は全体の１０％（H29 調査時：１０％）という結果となっています。降車後に乗継いで利用する割合が１０％を越える路線は、音羽地区地域路線、御津線、千両三上線、音羽線、豊川国府線の順で多くなっています。



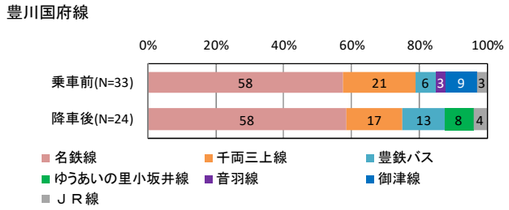
※ 豊鉄バス新豊線・豊川線では、豊川市外（豊橋市内・新城市内）での鉄道乗継は、乗継利用として集計せず、豊川市内での乗継のみを集計

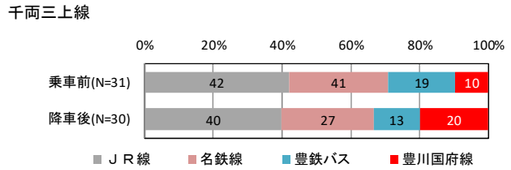
（３）各路線別の乗継状況

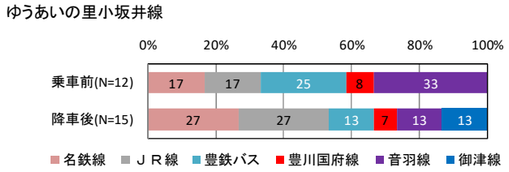
鉄道と接続している路線では、ＪＲ線、名鉄線との乗継割合の多さが目立っています。

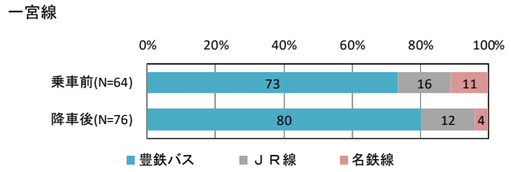
豊川市コミュニティバス相互の乗継では、音羽線と音羽地区地域路線及び豊川国府線、豊川国府線と千両三上線、ゆうあいの里小坂井線と豊川国府線及び音羽線、御津線と御油地区地域路線等で割合の多さが目立っています。

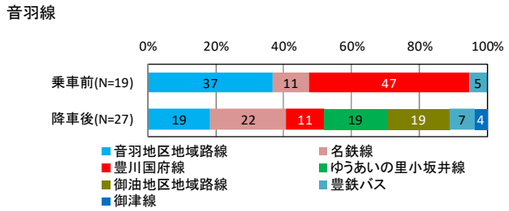
豊川市コミュニティバスと豊鉄バスの乗継では、千両三上線とゆうあいの里小坂井線で乗継割合が比較的高く、その他の基幹路線においても乗継利用がみられます。

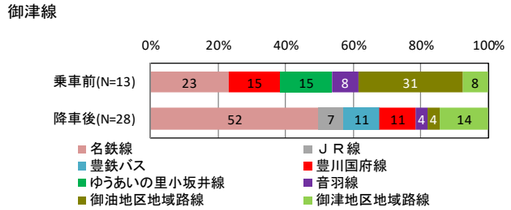


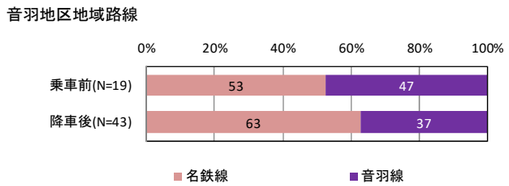


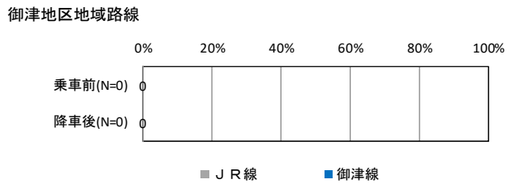


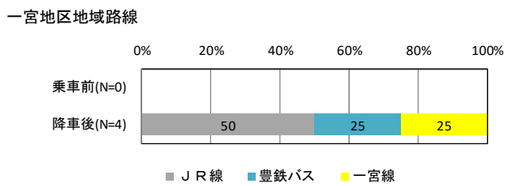


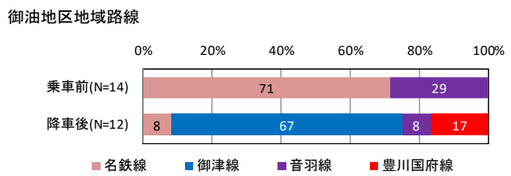


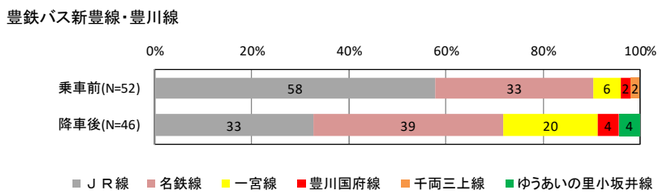








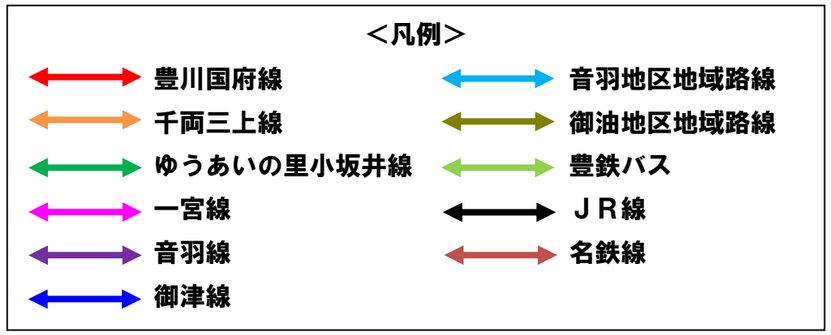




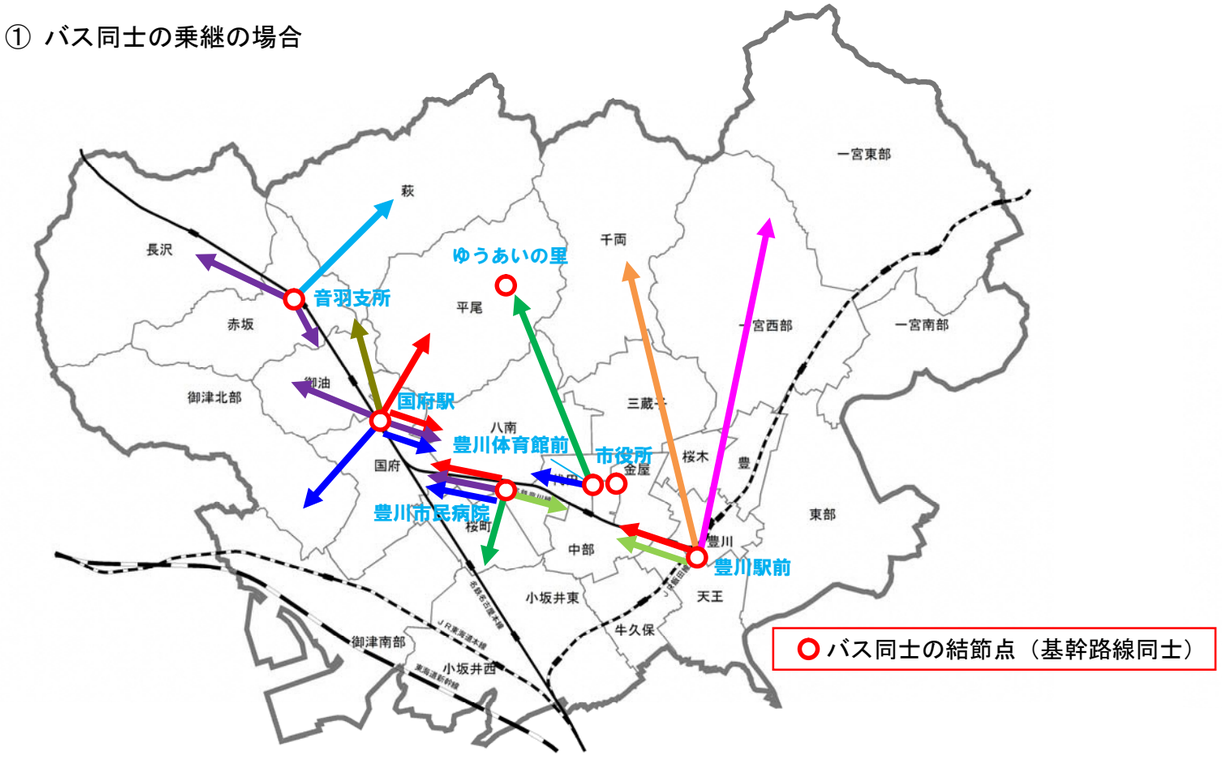
（４）主な乗継の状況

バス同士で１０人以上の乗継利用は、音羽支所バス停での音羽線と音羽地区地域路線が最も多く、その他では国府駅バス停での御油地区地域路線と豊川市コミュニティバス、豊川市民病院バス停での豊川市コミュニティバス相互でみられます。

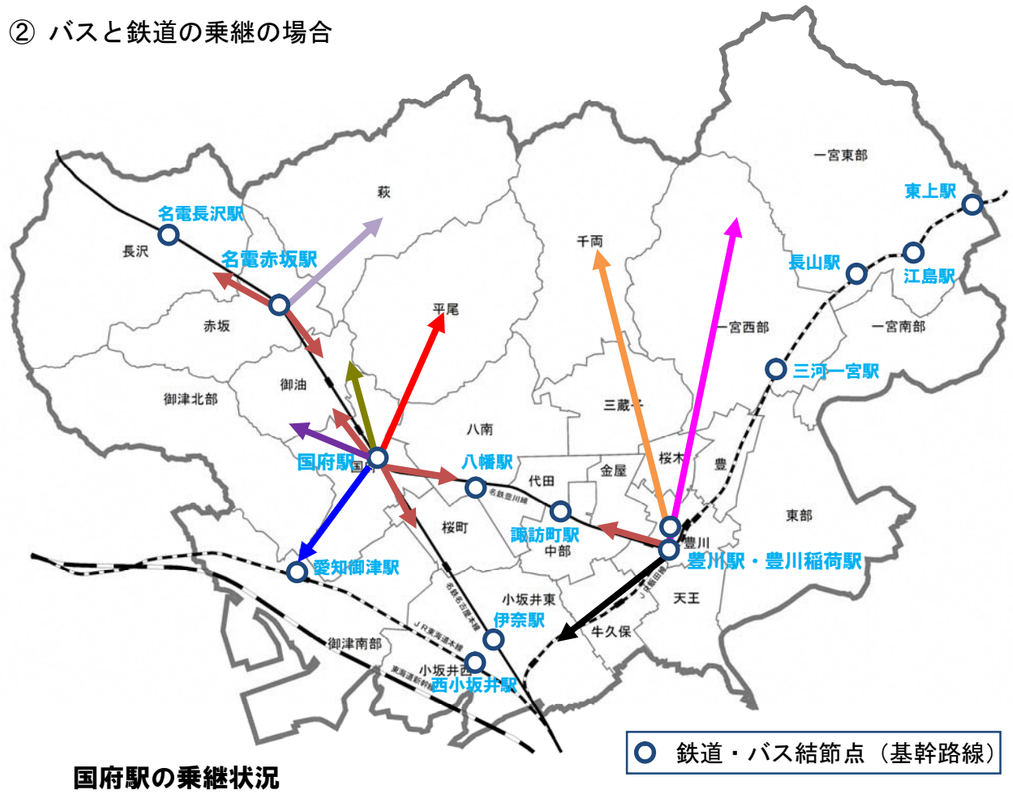
一方、鉄道駅との乗継利用は、豊川駅前バス停での千両三上線・一宮線とＪＲ線・名鉄線、国府駅バス停での豊川国府線・御津線と名鉄線、名電赤坂駅バス停での音羽地区地域路線と名鉄線で多くなっています。



① バス同士の乗継の場合



② バスと鉄道の乗継の場合



音羽地区の乗継状況

乗換前		乗換後	人数：調査期間計 H29	人数：調査期間計 H30
音羽地区地域路線	⇔	名鉄線（名電赤坂駅）	35	35
音羽地区地域路線	⇔	音羽線（音羽支所）	29	35

豊川体育館前の乗継状況

乗換前		乗換後	人数：調査期間計 H29	人数：調査期間計 H30
豊川市ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ	⇔	ゆうあいの里小坂井線	7	9
豊川市ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ	⇔	豊鉄バス	0	3

豊川市民病院の乗継状況

乗換前		乗換後	人数：調査期間計 H29	人数：調査期間計 H30
豊鉄バス	⇔	豊川市ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ	20	8
豊川市ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ	⇔	豊川市ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ	11	15
名鉄線	⇔	豊川市ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ	4	5

国府駅の乗継状況

乗換前		乗換後	人数：調査期間計 H29	人数：調査期間計 H30
豊川国府線	⇔	名鉄線	26	28
御津線	⇔	名鉄線	10	15
音羽線	⇔	名鉄線	2	5
御油地区地域路線	⇔	名鉄線	4	7
御油地区地域路線	⇔	豊川市ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ	23	21
音羽線	⇔	御津線	6	2
豊川国府線	⇔	御津線	3	8
豊川国府線	⇔	音羽線	7	2

豊川駅前の乗継状況

乗換前		乗換後	人数：調査期間計 H29	人数：調査期間計 H30
千両三上線	⇔	ＪＲ線	35	25
千両三上線	⇔	名鉄線	13	17
千両三上線	⇔	豊川国府線	12	9
千両三上線	⇔	豊鉄バス	9	10
一宮線	⇔	ＪＲ線	22	22
一宮線	⇔	名鉄線	23	10

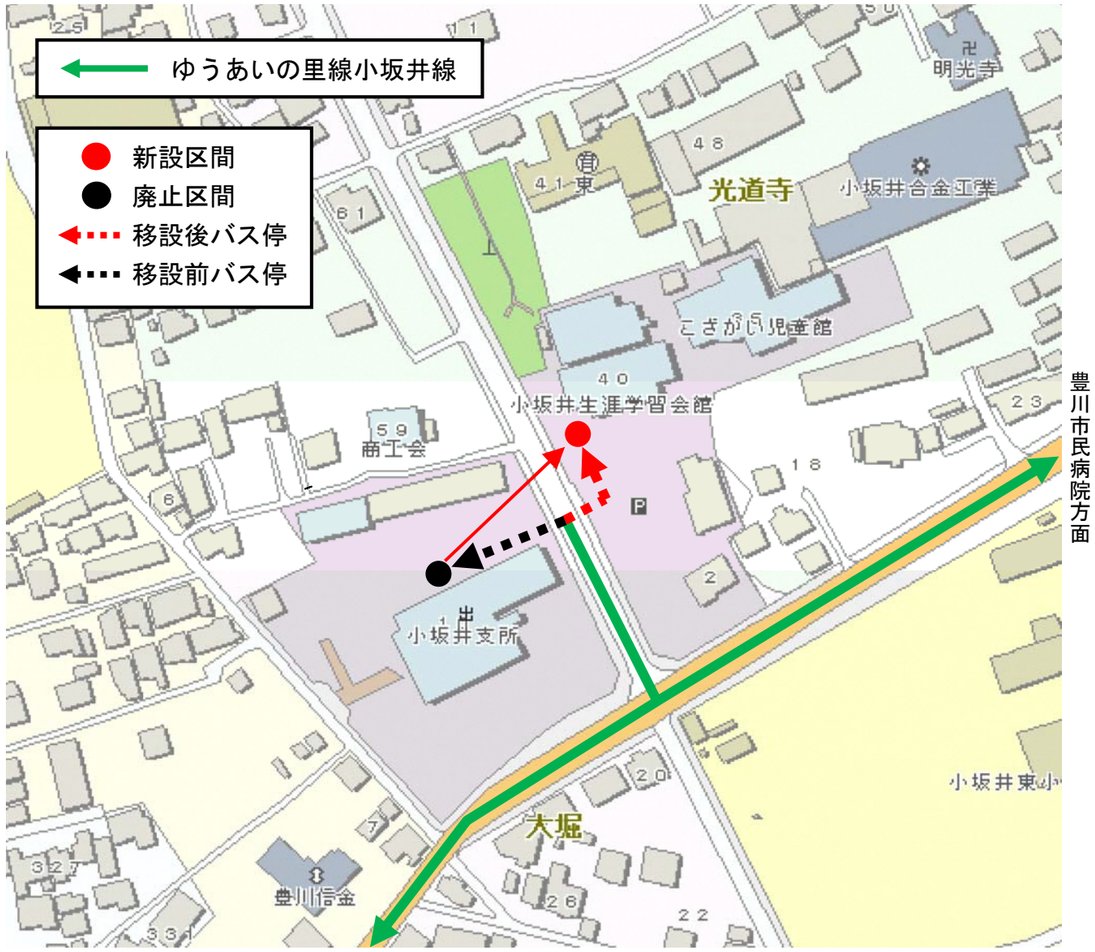
３．【協議事項（１）】豊川市コミュニティバスの運行計画の変更について

３－１．ゆうあいの里小坂井線「小坂井支所」バス停移設について

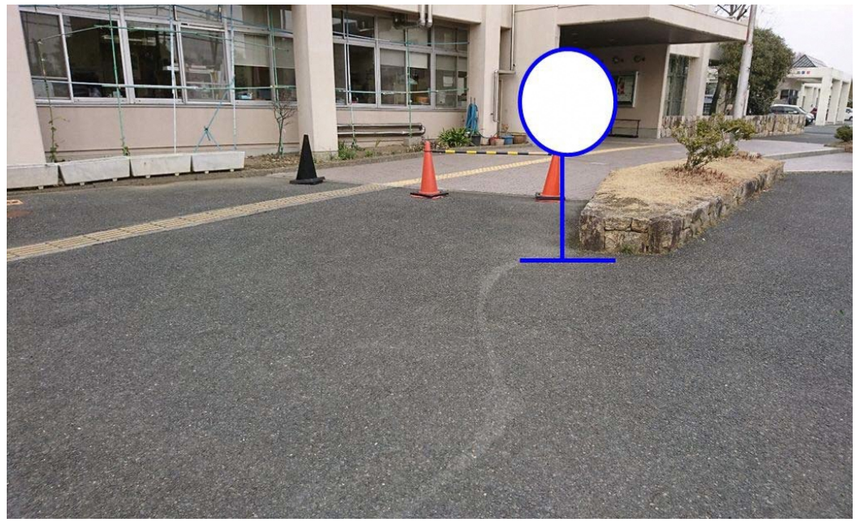
ゆうあいの里小坂井線の「小坂井支所」バス停について、小坂井庁舎の解体及び支所機能の移転に伴い、当面の間、バス停を移設します。移設位置につきましては、運行事業者、地権者（市）との協議を終え、合意を得ています。

また、バス停の移設に伴う時刻表及び運行距離について変更はありません。

なお、移設は平成３１年５月１日（水）からの予定です。



変　更　後



「小坂井支所」バス停の位置

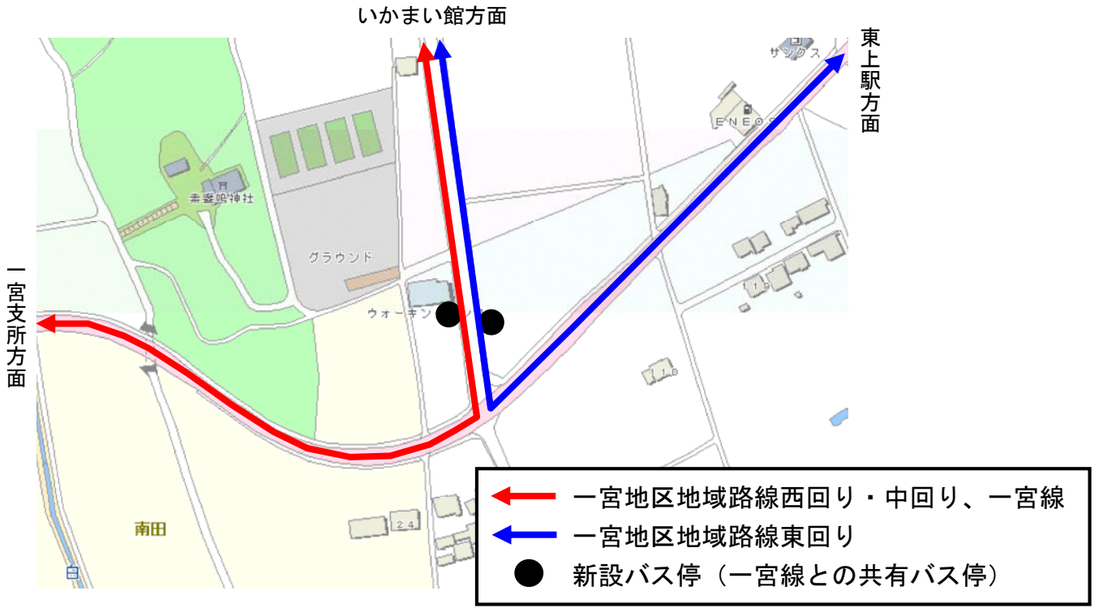
３－２．一宮地区地域路線（本宮線のんほい号）「ウォーキングセンター」バス停新設について

一宮地区地域路線（本宮線のんほい号）東回り・中回り・西回りについて、日常生活の利便性向上のため、「ウォーキングセンター」バス停を新設します。

新設位置につきましては、一宮線との共用バス停とし、公安委員会、運行事業者、道路管理者（市）、地域協議会、近隣地権者との協議を終え、合意を得ています。

また、バス停の新設に伴う運賃の変更はありません。

なお、変更は平成３１年５月１日（水）からの予定です。



現在の一宮線のバス停

一宮支所方面

いかまい館方面

「ウォーキングセンター」バス停の位置

【運行ダイヤ】

東　回　り

【変　更　前】

東回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡
	いかまい館	7:48	10:02	14:38
	炭焼集会所	7:52	10:06	14:42
	本宮パーク駐車場前	7:54	10:08	14:44
	東上駅	7:58	10:12	14:48
	グリーンセンター一宮	8:02	10:16	14:52
	江島ふれあいセンター	8:05	10:19	14:55
	金沢構造改善センター	8:07	10:21	14:57
	豊津神社前	8:10	10:24	15:00
	上新切南	8:12	10:26	15:02
	一宮支所	8:14	10:28	15:04
	蟹川橋西	8:18	10:32	15:08
	江島駅	8:20	10:34	15:10
	柿木平	8:21	10:35	15:11
	炭焼	8:23	10:37	15:13
	いかまい館	8:27	10:41	15:17

【変　更　後】

東回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡
	いかまい館	7:48	10:02	14:38
	ウォーキングセンター	7:49	10:03	14:39
	炭焼集会所	7:52	10:06	14:42
	本宮パーク駐車場前	7:54	10:08	14:44
	東上駅	7:58	10:12	14:48
	グリーンセンター一宮	8:02	10:16	14:52
	江島ふれあいセンター	8:05	10:19	14:55
	金沢構造改善センター	8:07	10:21	14:57
	豊津神社前	8:10	10:24	15:00
	上新切南	8:12	10:26	15:02
	一宮支所	8:14	10:28	15:04
	蟹川橋西	8:18	10:32	15:08
	江島駅	8:20	10:34	15:10
	柿木平	8:21	10:35	15:11
	炭焼	8:23	10:37	15:13
	ウォーキングセンター	8:26	10:40	15:16
	いかまい館	8:27	10:41	15:17

※新設バス停を黄着色で表示。

中　回　り

【変　更　前】

中回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡	4巡
	いかまい館	8:39	10:59	13:15	15:31
	六郎辻	8:42	11:02	13:18	15:34
	小南口	8:44	11:04	13:20	15:36
	十部公会堂前	8:47	11:07	13:23	15:39
	旧二部公会堂前	8:51	11:11	13:27	15:43
	小久保接骨院前	8:53	11:13	13:29	15:45
	三河一宮駅	8:55	11:15	13:31	15:47
	橋尾公会堂	9:00	11:20	13:36	15:52
	大和公民館	9:03	11:23	13:39	15:55
	宮前橋	9:06	11:26	13:42	15:58
	一宮支所	9:09	11:29	13:45	16:01
	一宮旭	9:11	11:31	13:47	16:03
	長山駅	9:13	11:33	13:49	16:05
	上長山コミュニティセンター	9:17	11:37	13:53	16:09
	いかまい館	9:21	11:41	13:57	16:13

【変　更　後】

中回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡	4巡
	いかまい館	8:39	10:59	13:15	15:31
	ウォーキングセンター	8:40	11:00	13:16	15:32
	六郎辻	8:42	11:02	13:18	15:34
	小南口	8:44	11:04	13:20	15:36
	十部公会堂前	8:47	11:07	13:23	15:39
	旧二部公会堂前	8:51	11:11	13:27	15:43
	小久保接骨院前	8:53	11:13	13:29	15:45
	三河一宮駅	8:55	11:15	13:31	15:47
	橋尾公会堂	9:00	11:20	13:36	15:52
	大和公民館	9:03	11:23	13:39	15:55
	宮前橋	9:06	11:26	13:42	15:58
	一宮支所	9:09	11:29	13:45	16:01
	一宮旭	9:11	11:31	13:47	16:03
	長山駅	9:13	11:33	13:49	16:05
	上長山コミュニティセンター	9:17	11:37	13:53	16:09
	ウォーキングセンター	9:20	11:40	13:56	16:12
	いかまい館	9:21	11:41	13:57	16:13

※新設バス停を黄着色で表示。

西　回　り

【変　更　前】

西回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡	4巡
	いかまい館	9:24	11:44	14:00	16:16
	足山田公民館	9:30	11:50	14:06	16:22
	西原公会堂	9:32	11:52	14:08	16:24
	小牧	9:35	11:55	14:11	16:27
	篠田神社前	9:38	11:58	14:14	16:30
	篠田集落センター	9:40	12:00	14:16	16:32
	馬酔木西	9:42	12:02	14:18	16:34
	六部公会堂前	9:44	12:04	14:20	16:36
	甚左橋西	9:45	12:05	14:21	16:37
	三河一宮駅	9:48	12:08	14:24	16:40
	一宮支所	9:52	12:12	14:28	16:44
	いかまい館	9:59	12:19	14:35	16:51

【変　更　後】

西回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡	4巡
	いかまい館	9:24	11:44	14:00	16:16
	ウォーキングセンター	9:25	11:45	14:01	16:17
	足山田公民館	9:30	11:50	14:06	16:22
	西原公会堂	9:32	11:52	14:08	16:24
	小牧	9:35	11:55	14:11	16:27
	篠田神社前	9:38	11:58	14:14	16:30
	篠田集落センター	9:40	12:00	14:16	16:32
	馬酔木西	9:42	12:02	14:18	16:34
	六部公会堂前	9:44	12:04	14:20	16:36
	甚左橋西	9:45	12:05	14:21	16:37
	三河一宮駅	9:48	12:08	14:24	16:40
	一宮支所	9:52	12:12	14:28	16:44
	ウォーキングセンター	9:58	12:18	14:34	16:50
	いかまい館	9:59	12:19	14:35	16:51

※新設バス停を黄着色で表示。

４．【協議事項（２）】平成３１年度実施の事業と予算案について

４－１．来年度の事業の概要・スケジュール

現在の豊川市地域公共交通網形成計画は平成３２年度で期間満了を迎えるため、次期地域公共交通網形成計画の策定作業を来年度から２箇年に渡って進めます。併せて、バス路線の見直しに向けた検討やデマンド型交通に関する検討を進めます。

また、バスを始めとした市内公共交通の一層の認知度向上と利用促進を図るため、周知・広報に取り組みます。

（１）バス利用実態調査（ＯＤ調査）

平成２８年１０月の豊川市コミュニティバスの路線･運賃体系変更後の利用状況の経年把握とバス路線の評価のため、基幹路線６路線、地域路線４路線及び豊鉄バス新豊線・豊川線のバス利用実態調査（ＯＤ調査）を行います。

（２）次期地域公共交通網形成計画の素案作成

平成３１年度は、平成３０年度に実施したアンケート調査や利用実態調査を活用して、豊川市の交通に関する現状と課題を整理し、現形成計画の総括と取り組みの評価を行います。それらの課題や評価に対応するための目指すべき将来像、基本方針、目標を設定するとともに、公共交通路線体系のあり方を検討します。

（３）基幹路線及び地域路線の見直し検討

上記（２）を踏まえて、路線や基本的なサービス水準などの見直し検討を行います。

（４）デマンド型交通調査等検討

利用者数が少ないバス路線について、バスからタクシーを活用したデマンド型交通に転換した場合における収支率や市民１人あたりの負担額などの変化を調査します。

（５）デマンド型交通実証実験

デマンド型交通を導入した場合の課題・問題点を把握し、本格導入の可否を判断する上での基礎データとするため、デマンド型交通の実証実験を行います。

（６）公共交通の利用促進に向けた取組み

① 利用促進ＰＲポスター作成

利用者及び市民に公共交通のＰＲ・周知を図るための広報資料を作成します。

② バスの利用促進施策の実施

平成３０年度に引き続き、夏休み期間中に「夏休み小学生５０円バス」及び「夏休み路線バス探検キャラバン」を実施し、バスの利用促進を図ります。

③ 標準的なバス情報フォーマット作成

バスの路線網や運行時刻などの情報を、パソコンやスマートフォンで入手しやすくするため、インターネットの情報検索サイトへデータ提供を行うためのフォーマット作成を行います。

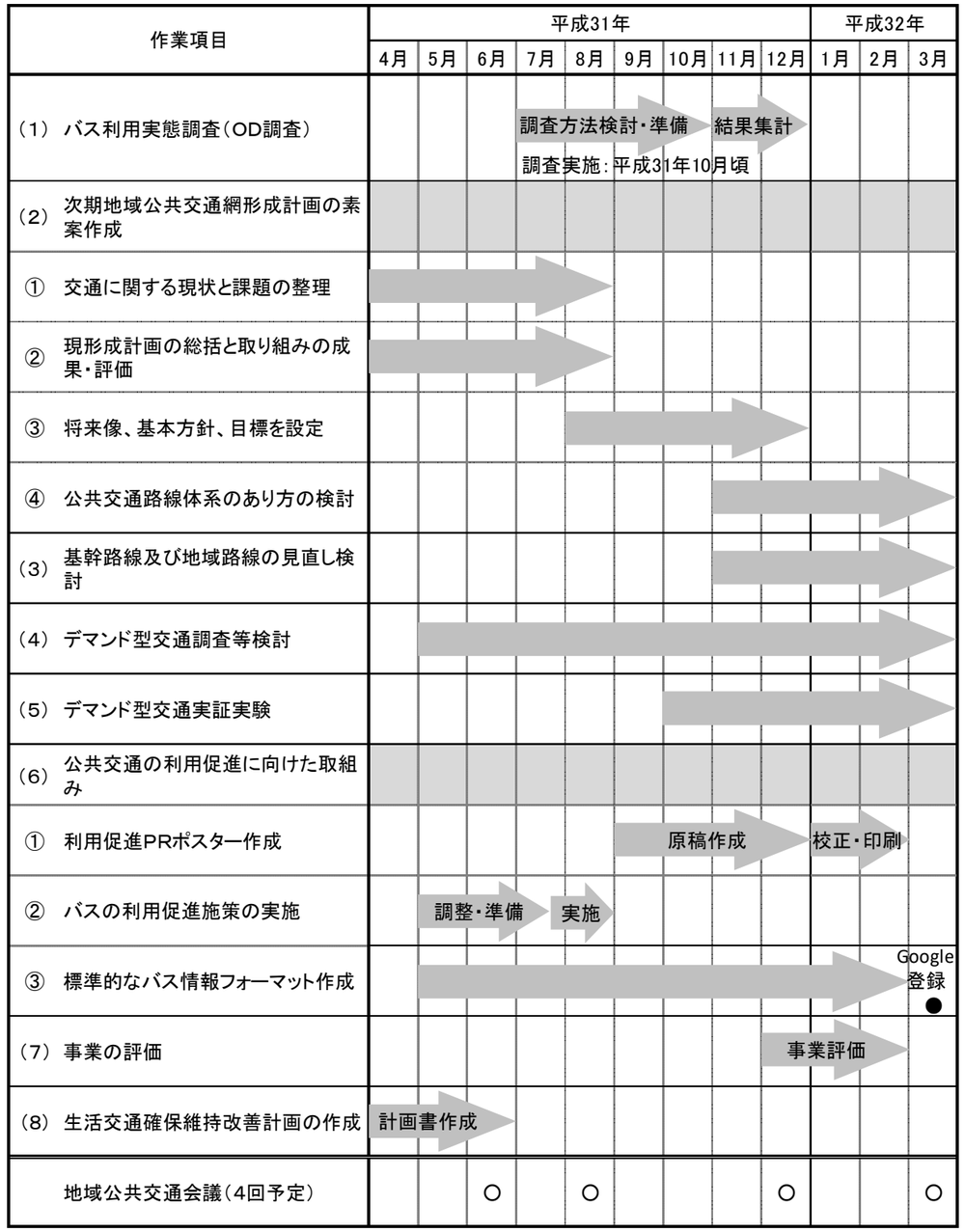
（７）事業の評価

平成３１年度における地域公共交通網形成計画の目標達成に向けた事業の取り組みについて、評価・分析を行います。

（８）生活交通確保維持改善計画の作成

地域公共交通確保維持改善事業を引き続き活用するため、生活交通確保維持改善計画を作成します。

平成３１年度の各事業スケジュールのイメージ



４－２．平成３１年度予算案

平成３１年度の豊川市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）を以下に示します。

平成31年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出予算書(案)

1. 歳入　　単位：千円

科　　目		①本年度予算額	②前年度予算額	(①－②) 比較増減	備　　考
1負担金及び補助金		1,971	3,640	-1,669	
	1負担金	1,971	1,732	239	豊川市から
	2補助金	0	1,908	-1,908	
2繰越金		1	1	0	
	1繰越金	1	1	0	平成30年度交通会議剰余金
3雑入		1	1	0	
	1雑入	1	1	0	預金利子等
合　計		1,973	3,642	-1,669	

2. 歳出　　単位：千円

科　　目		①本年度予算額	②前年度予算額	(①－②) 比較増減	備　　考
1事業費		99	113	-14	
	1負担金	99	113	-14	夏休み小学生50円バス実行委員会負担金
2需用費		1,223	1,237	-14	
	1消耗品費	550	540	10	事務用消耗品費
	2印刷製本費	673	697	-24	1日フリー乗車券、ポケット時刻表
3役務費		10	10	0	
	1手数料	10	10	0	振込手数料
4委託費		410	372	38	
	１委託料	410	372	38	①路線バス探検キャラバン（1日実施） ②バス乗車体験出前講座等 ③運行系統図（データ作成）
5備品購入費		229	0	229	
	1電算関係 備品購入費	229	0	229	カラープリンタ交換 （５年出張保守料込み）
6雑費		1	1,909	-1,908	
	1繰出金	1	1,909	-1,908	市へ返戻 （平成30年度交通会議剰余金）
7予備費		1	1	0	
	1予備費	1	1	0	
合　　計		1,973	3,642	-1,669	

※各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。

４－３．平成３１年度豊川市歳出予算書抄本

平成３１年度の豊川市歳出予算書抄本を参考資料として以下に示します。

【参考】

平成31年度豊川市歳出予算書(案)抄本

（単位：千円）

事業３	節	説明	金額
バス路線運行 対策費補助金	負担金、補助 及び交付金	・豊鉄バス(新豊線・豊川線)	29,229
公共交通機関等 利用促進事業費	委託料	・コミュニティバス運行計画 調査等作成業務委託料	11,500
		・標準的なバス情報フォーマット 作成等委託料	2,660
		・デマンド型交通調査等検討委託料	4,543
	負担金、補助 及び交付金	・コミュニティバス運行業務 負担金(基幹路線・地域路線)	105,078
		・デマンド型交通実証実験 運行業務負担金	1,784

５．【協議事項（３）】豊川市コミュニティバス運行車両の更新方針（案）について

豊川市コミュニティバスは、豊川国府線と一宮線を除く８路線についてはジャンボタクシー車両で運行しています。

しかし、平成２３年１１月の運行開始以来、車両更新をしていないことから劣化が進行し、車両更新の必要性が高くなっています。

そこで、以下のとおり車両更新の方針(案)をまとめました。

※詳細は別添資料参照。

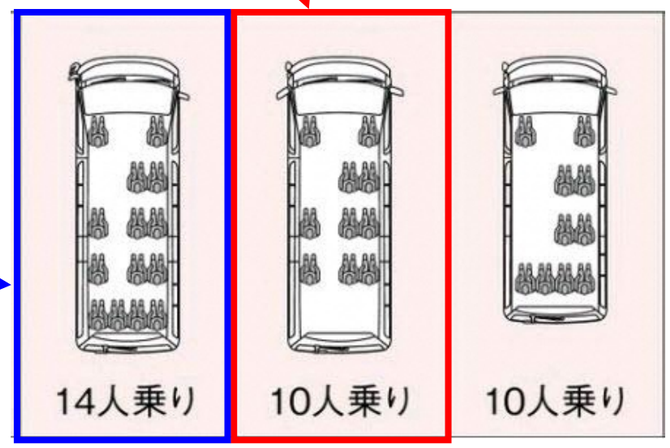
【車両更新の方針(案)】

① 車両は平成３１年１０月～平成３３年１０月にかけて順次更新し、車いすリフトアップ無しの定員１０名（利用者定員９名）車両とします。
（要バリアフリー基準適用除外協議・申請）

② 乗りこぼしが頻発している「ゆうあいの里小坂井線」と「音羽線」の２路線については、定員１４名（利用者定員１３名）車両とします。
（要バリアフリー基準適用除外協議・申請）

③ 予備車については車いすリフトアップ付の車両とし、従前同様前日に予約をお願いします。
また、障害をお持ちの利用者に対する個別対応を強化します。

④ 平成３３年１０月から車両デザインを変更し、ラッピング広告を導入します。



６.【協議事項（４）】形成計画・路線の評価について

６－１．来年度以降のスケジュール

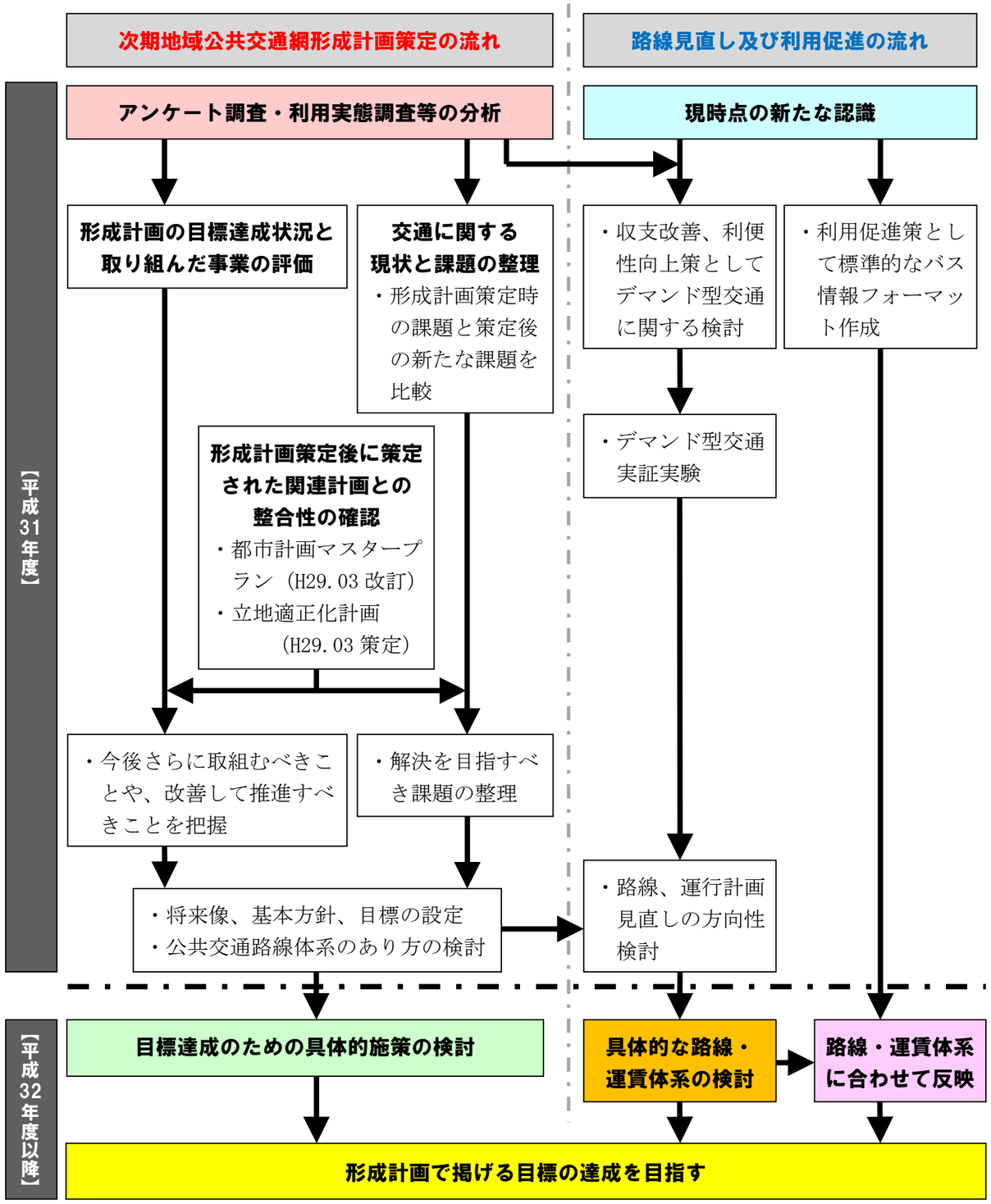
今回の会議では、形成計画・路線の評価・改善の流れまでを示します。

平成３１年度は、評価指標のデータ整理・分析を行い、現状と課題の整理と現形成計画の取り組みの成果・評価の整理を行い、将来像、基本方針、目標の設定と公共交通路線体系のあり方を検討します。

平成３２年度に形成計画としての具体的な取り組みの検討と並行して、バス路線見直しの検討を行います。

次期形成計画は平成３３年３月の策定・公表を目指し、バスの見直し路線での運行開始は平成３３年１０月を目指し、とりまとめを進めます。

年月		次期地域公共交通網形成計画策定に関するスケジュール	路線見直し及び利用促進に関するスケジュール
平成30年度	３月	・評価・改善の流れの整理	
平成31年度	４～６月	・現状と課題の整理 ・現形成計画の総括と取り組みの成果・評価の整理	・デマンド型交通調査等検討 ・標準的なバス情報フォーマット作成
	７～９月		
	１０～１２月	・将来像、基本方針、目標の設定 ・公共交通路線体系のあり方の検討	・デマンド型交通実証実験 ・路線、運行計画見直しの方向性検討
	１～３月	相互に関連付けながら検討	
平成32年度	４～６月	・目標達成のための交通施策検討 ・次期地域公共交通網形成計画の素案作成	・具体的な運行ルート、運行ダイヤ、運賃体系等の検討
	７～９月	・次期地域公共交通網形成計画の修正素案作成 ・パブリックコメントの実施	
	１０～１２月	・次期地域公共交通網形成計画のパブリックコメント反映案	・運行計画の最終承認
	１～３月	・次期地域公共交通網形成計画(案)の最終承認 （公表：平成３３年３月～）	・認可申請 ・周知・広報、住民説明 （運行開始：平成３３年１０月～）

６－２．評価・改善の流れ

平成３１年度以降は、次期地域公共交通形成計画の策定と路線見直し及び利用促進に関する検討を、以下の評価・改善の流れに沿って、相互に関連付けながら整理を進めます。